

< 資 料 編 >

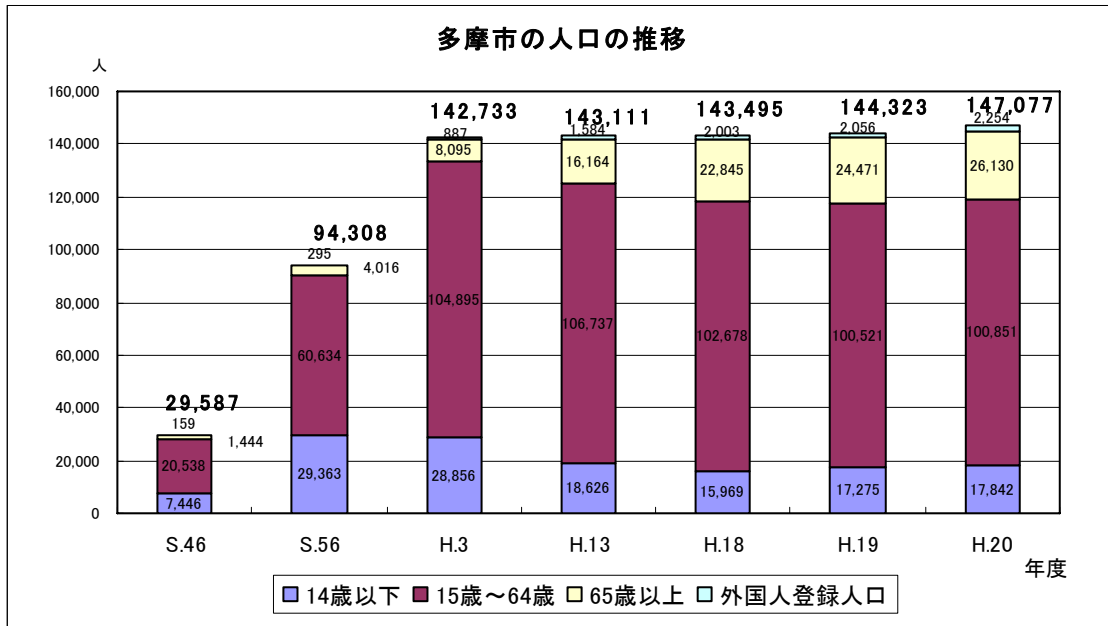
目次

	(ページ)
I 多摩市の概況-----	1
(1) 位置・地勢-----	2
(2) 人口-----	3
(3) 産業-----	3
(4) 交通-----	4
(5) 土地利用-----	5
II 環境・公害測定データ-----	7
1 調査結果(平成20年度)-----	9
大気環境調査結果-----	10
河川水質調査結果-----	13
道路交通騒音調査結果-----	15
道路交通振動調査結果-----	16
2 経年推移-----	17
大気環境の経年推移-----	18
河川水質の経年推移-----	22
道路交通騒音の経年推移-----	27
道路交通振動の経年推移-----	29
3 環境基準等-----	31
大気汚染に係る環境基準-----	32
水質汚濁に係る環境基準-----	33
環境省が設置する水浴場の水質判定基準-----	34
騒音に係る環境基準-----	35
ダイオキシン類に係る環境基準-----	36
III 各種管理指標の推移データ-----	37
自然環境の保全等-----	38
都市環境の保全等-----	39
公害の防止-----	41
ごみの減量・資源の有効利用-----	43
エネルギーの有効利用-----	46
健全な水循環の確保-----	49
地球環境の保全等-----	50
人づくり-----	53

IV 特集	ごみ問題	その後の状況	55
	収集（家庭系）	ごみ量	56
	持込	ごみ量	57
	資源回収量と総資源化率		58
	市民1人1日当たり	収集ごみ減量率	59
	市民1人1日当たり	収集ごみ量	60
用語集			61

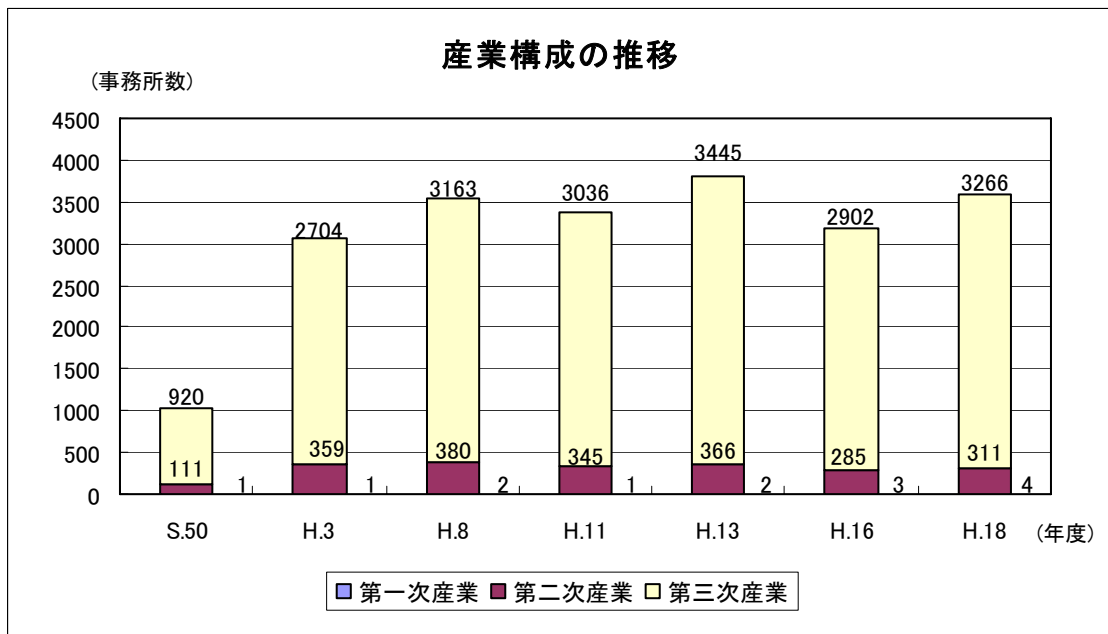
I 多摩市の概況

(2) 人口



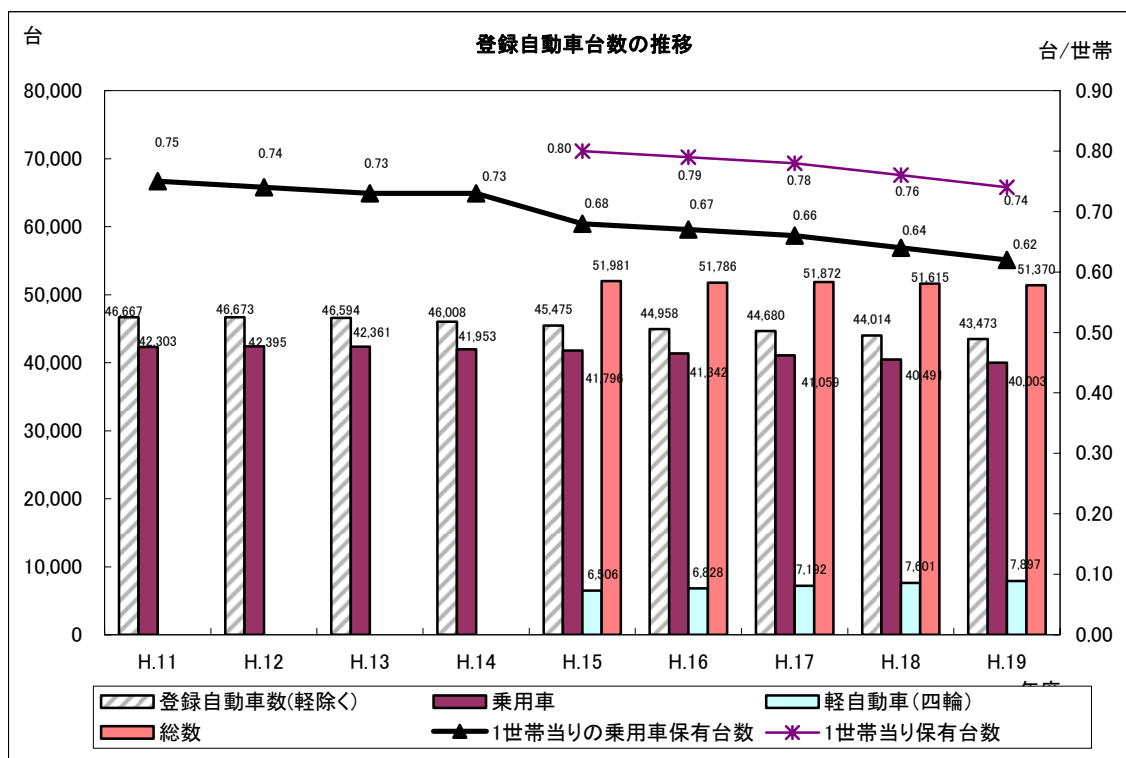
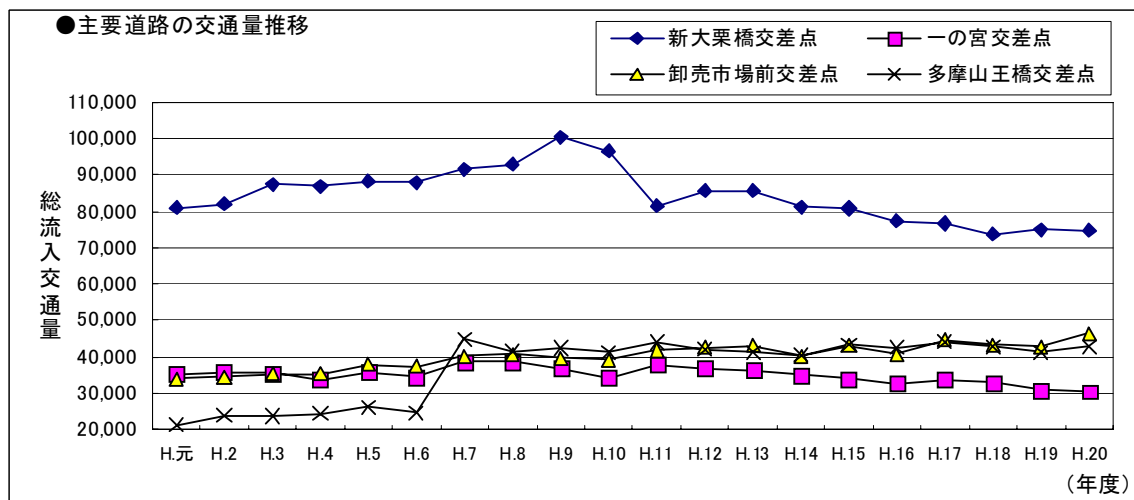
出典：住民基本台帳（各年1月1日現在）

(3) 産業



注) グラフ横の数値は第一次産業の事務所数

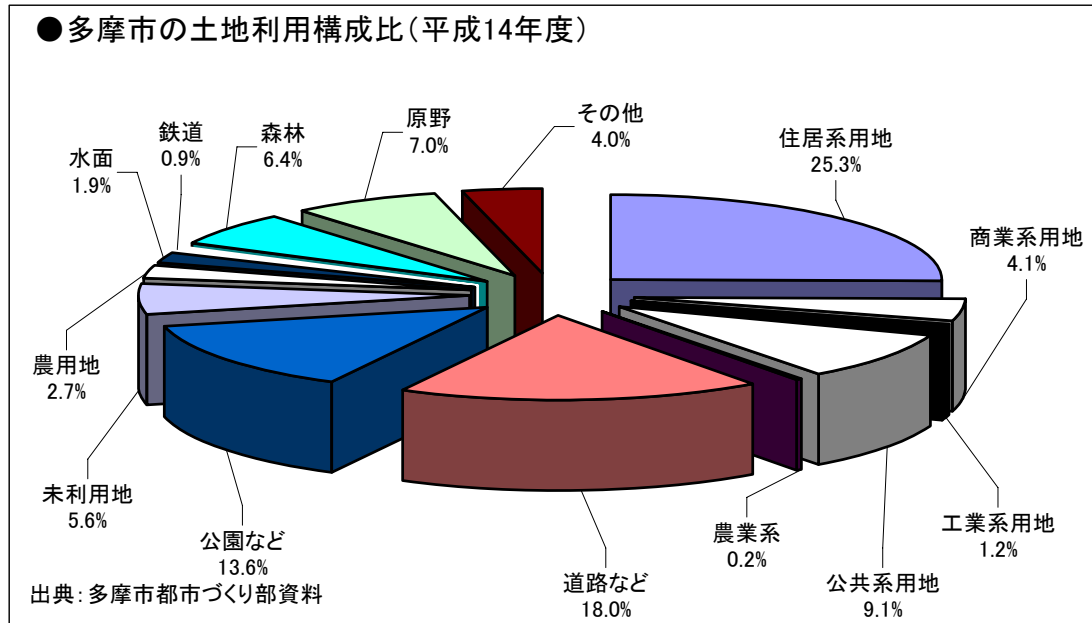
(4) 交通



軽自動車(二輪・三輪)・原動機付自転車台数は含まない

出典：多摩市「統計たま」 / 東京都「東京都統計年鑑」

(5) 土地利用



Ⅱ 環境・公害測定データ

1 調査結果

～ 平成 20 年度に市が実施した 環境調査の結果 ～

- ・ 平成 20 年度大気環境調査結果
- ・ 平成 20 年度河川水質調査結果
- ・ 平成 20 年度道路交通騒音調査結果
- ・ 平成 20 年度道路交通振動調査結果

平成 20 年度 大気環境調査結果

◆光化学オキシダント 平成 20 年度 年間値

環境基準：1 時間値が 0.06ppm 以下であること。

地 点	昼 間 平均値	昼間 1 時間値 の最高値	昼間の 1 時間値が 0.06ppm を 超えた日数と その時間数		昼間の 1 時間値が 0.12ppm を 超えた日数と その時間数		区 分
	ppm	ppm	日	時間	日	時間	
新大栗橋交差点付近	0.007	0.046	0	0	0	0	沿道
一ノ宮交差点付近	0.008	0.052	0	0	0	0	
多摩卸売市場前交差点付近	0.008	0.037	0	0	0	0	
多摩第三小学校	0.008	0.043	0	0	0	0	
豊ヶ丘五丁目	0.012	0.074	1	2	0	0	後背地

◆二酸化窒素 平成 20 年度 年間値

環境基準：1 時間値の 1 日平均値が 0.04~0.06ppm までのゾーン内またはそれ以下であること。

地 点	期 間 平均値	1 時間値 の最高値	日平均値 の最高値	日平均値が 0.06ppm を 超えた日数と その割合		日平均値が 0.04ppm 以上 0.06ppm 以下 の日数とその 割合	
				日	%	日	%
新大栗橋交差点付近	0.032	0.062	0.044	0	0.0	2	14.3
一ノ宮交差点付近	0.027	0.060	0.038	0	0.0	0	0.0
多摩卸売市場前交差点付近	0.025	0.067	0.040	0	0.0	1	7.1
多摩第三小学校	0.026	0.053	0.037	0	0.0	0	0.0
豊ヶ丘五丁目	0.019	0.047	0.027	0	0.0	0	0.0

◆浮遊粒子状物質 平成20年度 年間値

環境基準：1時間値の1日平均値が0.10mg/m³以下であり、かつ、1時間値が0.20mg/m³以下であること。

地点	期間 平均値	1時間 値の最 高値	日平均 値の最 高値	1時間値が 0.20mg/m ³ を超えた時間 数とその割合		日平均値が 0.10mg/m ³ を超えた日数 とその割合		区分
	mg/m ³	mg/m ³	mg/m ³	時間	%	日	%	
新大栗橋交差点付近	0.019	0.065	0.034	0	0	0	0	沿道
一ノ宮交差点付近	0.019	0.110	0.033	0	0	0	0	
多摩卸売市場前交差点付近	0.018	0.067	0.037	0	0	0	0	
多摩第三小学校	0.018	0.074	0.032	0	0	0	0	
豊ヶ丘五丁目	0.017	0.074	0.034	0	0	0	0	後背地

◆二酸化いおう 平成20年度 年間値

環境基準：1時間値の1日平均値が0.04ppm以下であり、かつ、1時間値が0.1ppm以下であること。

地点	期間 平均値	1時間 値の最 高値	日平均 値の最 高値	1時間値が 0.1ppmを超 えた時間数と その割合		日平均値が 0.04ppmを 超えた日数と その割合		区分
	ppm	ppm	ppm	時間	%	日	%	
新大栗橋交差点付近	<0.001	0.007	0.001	0	0.0	0	0.0	沿道
一ノ宮交差点付近	<0.001	0.006	0.001	0	0.0	0	0.0	
多摩卸売市場前交差点付近	<0.001	0.007	0.001	0	0.0	0	0.0	
多摩第三小学校	<0.001	0.007	0.001	0	0.0	0	0.0	
豊ヶ丘五丁目	<0.001	0.007	0.002	0	0.0	0	0.0	後背地

◆一酸化炭素 平成20年度 年間値

環境基準：1時間値の1日平均値が10ppm以下であり、かつ、1時間値の8時間平均値が20ppm以下であること。

地点	期間 平均値	1時間 値 の最高 値	日平均 値 の最高 値	8時間値が 20ppmを超 えた時間数と その割合		日平均値が 10ppmを超 えた日数と その割合		区分
				時間	%	日	%	
新大栗橋交差点付近	0.6	2.1	1.0	0	0.0	0	0.0	沿道
一ノ宮交差点付近	0.6	1.8	0.9	0	0.0	0	0.0	
多摩卸売市場前交差点付近	0.5	2.0	0.9	0	0.0	0	0.0	
多摩第三小学校	0.5	2.6	1.0	0	0.0	0	0.0	
豊ヶ丘五丁目	0.4	1.6	0.7	0	0.0	0	0.0	後背地

◆ベンゼン 平成20年度値

環境基準：年間平均値として0.003 mg/m³以下 単位：mg/m³

区分	新大栗橋 交差点付近	一ノ宮 交差点付近	多摩卸売市場前 交差点付近	多摩第三 小学校	豊ヶ丘 5丁目
冬季	0.0027	0.0026	0.0029	0.0031	0.0023

※ベンゼンは年平均値をもって環境基準と比較し評価することになっているため、1回の測定で得られた測定値のみでは正しい評価はできません。ここでは参考値として取扱います。

◆ダイオキシン類 平成20年度値

環境基準：年間平均値として0.6 pg-TEQ/m³以下 単位：pg-TEQ/m³

区分	多摩市役所屋上
冬季	0.027

平成20年度 河川水質調査結果

調査項目	単位	調査場所									環境基準	
		大栗川										
		久保下橋			新大栗橋			合流点手前				
一般観測項目	調査日	—	H20.9.11	H20.12.16	平均値	H20.9.11	H20.12.16	平均値	H20.9.11	H20.12.16	平均値	—
	調査時刻	—	9時00分	10時45分		10時40分	15時00分		13時50分	8時50分		—
	気温	℃	23.0	10.2	16.6	26.5	10.0	18.3	27.4	7.5	17.5	—
	水温	℃	20.6	9.2	14.9	21.0	9.9	15.5	22.0	9.2	15.6	—
	色相	—	淡灰黄色	淡灰黄色	—	淡灰黄色	淡灰黄色	—	淡灰黄色	淡灰黄色	—	—
	臭気	—	微川藻臭	微川藻臭	—	微川藻臭	無臭	—	微川藻臭	無臭	—	—
	透視度	度	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	—
	流量	m ³ /s	0.502	0.347	0.425	0.718	0.531	0.625	1.130	0.622	0.876	—
分析項目	pH	—	8.6	8.2	8.4	8.4	8.4	8.4	8.4	8.0	8.2	6.5以上8.5以下 *1
	R-pH	—	8.5	8.2	8.4	8.4	8.4	8.4	8.5	8.0	8.3	—
	BOD	mg/l	1.1	0.7	0.9	<0.5	0.5	0.5	0.6	<0.5	0.6	3以下 *1
	COD	mg/l	2.4	2.2	2.3	1.9	1.9	1.9	1.8	1.8	1.8	—
	SS	mg/l	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	25以下 *1
	DO	mg/l	10.3	12.4	11.4	10.7	12.3	11.5	11.2	10.0	10.6	5以上 *1
	電気伝導率	μS/cm	326	352	339	315	312	314	309	337	323	—
	T-N	mg/l	1.6	2.5	2.0	1.9	2.2	2.0	1.9	1.9	1.9	—
	T-P	mg/l	0.043	0.091	0.067	0.035	0.076	0.056	0.027	0.049	0.038	—
	大腸菌群数	MPN/100ml	33000	9400	21200	17000	2300	9700	33000	2300	17700	5000以下 *1
糞便性大腸菌	CFU/100ml	6800	1600	4200	2900	360	1600	2300	850	1600	— *2	

調査項目	単位	調査場所						環境基準	
		乞田川							
		稻荷橋			行幸橋				
一般観測項目	調査日	—	H20.9.11	H20.12.16	平均値	H20.9.11	H20.12.16	平均値	—
	調査時刻	—	8時15分	8時45分		8時25分	13時45分		—
	気温	℃	22.2	7.2	14.7	25.0	10.3	17.7	—
	水温	℃	20.0	8.7	14.4	20.4	12.4	16.4	—
	色相	—	淡黄色	淡黄色	—	淡灰黄色	淡灰黄色	—	—
	臭気	—	微川藻臭	無臭	—	微川藻臭	微川藻臭	—	—
	透視度	度	>100	>100	>100	>100	>100	>100	—
	流量	m ³ /s	0.047	0.028	0.038	0.185	0.157	0.171	—
分析項目	pH	—	8.4	8.0	8.2	8.6	8.8	8.7	6.5以上8.5以下 *1
	R-pH	—	8.4	8.1	8.3	8.6	8.8	8.7	—
	BOD	mg/l	1.0	0.5	0.8	1.0	<0.5	0.8	3以下 *1
	COD	mg/l	2.4	1.7	2.1	2.3	2.2	2.3	—
	SS	mg/l	<1	<1	<1	<1	2	2	25以下 *1
	DO	mg/l	10.4	11.7	11.1	12.4	14.0	13.2	5以上 *1
	電気伝導率	μS/cm	324	349	337	339	324	332	—
	T-N	mg/l	0.9	0.8	0.8	1.0	1.1	1.0	—
	T-P	mg/l	0.019	0.014	0.017	0.010	0.010	0.010	—
	大腸菌群数	MPN/100ml	24000	4900	14000	4900	2300	3600	5000以下 *1
糞便性大腸菌	CFU/100ml	4600	1300	3000	1900	95	1000	— *2	

*1 昭和46年12月環境庁告示第59号 (生活環境の保全に関する環境基準値)

*2 出典: 「水浴場水質基準」 平成9年4月環境庁告示第115号

多摩川水系水質合同調査

調査項目		単位	大栗川 合流点手前		多摩川 稲城市境		環境基準
調査日		—	H20.6.5	H20.11.6	H20.6.5	H20.11.6	—
調査時刻		—	9時00分	9時00分	11時30分	11時30分	—
一般観測項目	天候	—	雨	晴	雨	晴	—
	流量	m ³ /s	2.32	0.48	18.70	9.67	—
	気温	℃	18.9	14.8	19.4	18.0	—
	水温	℃	16.7	13.5	16.0	18.4	—
	色相	—	淡黄緑色	淡黄緑色	淡黄緑色	淡黄緑色	—
	臭気	—	微川藻臭	微川藻臭	微川藻臭	微川藻臭	—
	透視度	度	>100	>100	90	>100	—
	電気伝導率	μS/cm	277	352	162	396	—
分析項目	pH	—	7.8	7.8	7.6	7.8	6.5以上8.5以下 *1
	R-pH	—	8.0	8.0	7.7	7.8	—
	BOD	mg/l	<0.5	0.5	<0.5	0.7	3以下 *1
	SS	mg/l	<1	<1	6	<1	25以下 *1
	DO	mg/l	9.6	9.5	9.2	10.5	5以上 *1
	大腸菌群数	MPN/100ml	49000	13000	11000	13000	5000以下 *1
	糞便性大腸菌	CFU/100ml	9300	1900	290	5500	— *3
	COD	mg/l	1.8	1.9	2.0	3.7	—
	T-P	mg/l	0.029	0.057	0.149	0.328	—
	T-N	mg/l	2.32	2.16	2.6	6.4	—
	MBAS	mg/l	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	—
	NH ₄ -N	mg/l	<0.01	0.01	0.05	0.02	—
	PO ₄ -P	mg/l	0.021	0.052	0.138	0.324	—
	T-CN	mg/l	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	検出されないこと *2
	Pb	mg/l	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01以下 *2
	T-Cr	mg/l	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	—
	NO ₂ -N	mg/l	0.02	0.03	—	—	—
	NO ₃ -N	mg/l	2.00	1.91	—	—	—
	K-N	mg/l	0.30	0.22	—	—	—
	Cl ⁻	mg/l	11	20	—	—	—
	Cd	mg/l	<0.001	<0.001	—	—	0.01以下 *2
	Cr(VI)	mg/l	<0.005	<0.005	—	—	0.05以下 *2
	As	mg/l	<0.001	<0.001	—	—	0.01以下 *2
	T-Hg	mg/l	<0.0005	<0.0005	—	—	0.0005以下 *2
	R-Hg	mg/l	<0.0005	<0.0005	—	—	検出されないこと *2
	PCB	mg/l	<0.0005	<0.0005	—	—	検出されないこと *2
	ジクロロメタン	mg/l	<0.0002	<0.0002	—	—	0.02以下 *2
	四塩化炭素	mg/l	<0.0002	<0.0002	—	—	0.002以下 *2
	1,2-ジクロロエタン	mg/l	<0.0002	<0.0002	—	—	0.004以下 *2
	1,1-ジクロロエチレン	mg/l	<0.0002	<0.0002	—	—	0.02以下 *2
	シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/l	<0.0002	<0.0002	—	—	0.04以下 *2
	1,1,1-トリクロロエタン	mg/l	<0.0002	<0.0002	—	—	1以下 *2
1,1,2-トリクロロエタン	mg/l	<0.0002	<0.0002	—	—	0.006以下 *2	
トリクロロエチレン	mg/l	<0.001	<0.001	—	—	0.03以下 *2	
テトラクロロエチレン	mg/l	<0.0002	<0.0002	—	—	0.01以下 *2	
1,3-ジクロロプロペン	mg/l	<0.0002	<0.0002	—	—	0.002以下 *2	
チウラム	mg/l	<0.0006	<0.0006	—	—	0.006以下 *2	
シマジン	mg/l	<0.0003	<0.0003	—	—	0.003以下 *2	
チオベンカルブ	mg/l	<0.0003	<0.0003	—	—	0.02以下 *2	
ベンゼン	mg/l	<0.0002	<0.0002	—	—	0.01以下 *2	
Se	mg/l	<0.001	<0.001	—	—	0.01以下 *2	
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/l	2.01	1.93	—	—	10以下 *2	
ふっ素	mg/l	<0.08	<0.08	—	—	0.8以下 *2	
ほう素	mg/l	<0.05	0.10	—	—	1以下 *2	

*1 昭和46年12月環境庁告示第59号（生活環境の保全に関する環境基準値）

*2 昭和46年12月環境庁告示第59号（人の健康の保護に関する環境基準値）

*3 出典：「水浴場水質基準」平成9年4月環境庁告示第115号

平成20年度 道路交通騒音調査結果

調査地点 : No.1 (新大栗橋交差点付近)

区分 調査日	昼間(6:00~22:00)					夜間(22:00~6:00)				
	測定値 (dB)	環境基準		要請限度		測定値 (dB)	環境基準		要請限度	
		基準値 (dB)	適否 状況	基準値 (dB)	適否 状況		基準値 (dB)	適否 状況	基準値 (dB)	適否 状況
12月3日	69	70	○	75	○	66	65	×	70	○
12月4日	69		○		○					
12月5日	69		○		○					
12月6日	69		○		○					
12月7日	68		○		○					
12月8日	69		○		○					
12月9日	70		○		○					
平均	69	○	○	○	67	×	○			

調査地点 : No.2 (一ノ宮立体交差点付近)

区分 調査日	昼間(6:00~22:00)					夜間(22:00~6:00)				
	測定値 (dB)	環境基準		要請限度		測定値 (dB)	環境基準		要請限度	
		基準値 (dB)	適否 状況	基準値 (dB)	適否 状況		基準値 (dB)	適否 状況	基準値 (dB)	適否 状況
12月3日	68	70	○	75	○	64	65	○	70	○
12月4日	69		○		○					
12月5日	68		○		○					
12月6日	68		○		○					
12月7日	67		○		○					
12月8日	68		○		○					
12月9日	69		○		○					
平均	68	○	○	○	64	○	○			

調査地点 : No.3 (多摩卸売市場前交差点付近)

区分 調査日	昼間(6:00~22:00)					夜間(22:00~6:00)				
	測定値 (dB)	環境基準		要請限度		測定値 (dB)	環境基準		要請限度	
		基準値 (dB)	適否 状況	基準値 (dB)	適否 状況		基準値 (dB)	適否 状況	基準値 (dB)	適否 状況
12月3日	68	70	○	75	○	64	65	○	70	○
12月4日	68		○		○					
12月5日	68		○		○					
12月6日	67		○		○					
12月7日	67		○		○					
12月8日	67		○		○					
12月9日	69		○		○					
平均	68	○	○	○	65	○	○			

調査地点 : No.4 (多摩山王橋交差点付近)

区分 調査日	昼間(6:00~22:00)					夜間(22:00~6:00)				
	測定値 (dB)	環境基準		要請限度		測定値 (dB)	環境基準		要請限度	
		基準値 (dB)	適否 状況	基準値 (dB)	適否 状況		基準値 (dB)	適否 状況	基準値 (dB)	適否 状況
12月3日	70	70	○	75	○	66	65	×	70	○
12月4日	70		○		○					
12月5日	71		×		○					
12月6日	70		○		○					
12月7日	70		○		○					
12月8日	71		×		○					
12月9日	72		×		○					
平均	71	×	○	○	66	×	○			

調査地点 : No.5 (多摩第三小学校)

区分 調査日	昼間(6:00~22:00)					夜間(22:00~6:00)				
	測定値 (dB)	環境基準		要請限度		測定値 (dB)	環境基準		要請限度	
		基準値 (dB)	適否 状況	基準値 (dB)	適否 状況		基準値 (dB)	適否 状況	基準値 (dB)	適否 状況
12月3日	68	70	○	75	○	63	65	○	70	○
12月4日	68		○		○					
12月5日	67		○		○					
12月6日	66		○		○					
12月7日	65		○		○					
12月8日	68		○		○					
12月9日	69		○		○					
平均	67	○	○	○	63	○	○			

平成20年度 道路交通振動調査結果

調査地点 区分	昼 間 (8:00~20:00)			夜 間 (20:00~8:00)		
	測定値 (dB)	要請限度		測定値 (dB)	要請限度	
		基準値 (dB)	適否 状況		基準値 (dB)	適否 状況
No.1 (新大栗橋交差点付近)	36	70	○	33	65	○
No.2 (一ノ宮立体交差点付近)	43	70	○	38	65	○
No.3 (多摩卸売市場前交差点付近)	43	65	○	39	60	○
No.4 (多摩山王橋交差点付近)	41	70	○	35	65	○
No.5 (多摩第三小学校)	46	65	○	41	60	○

2 経年推移

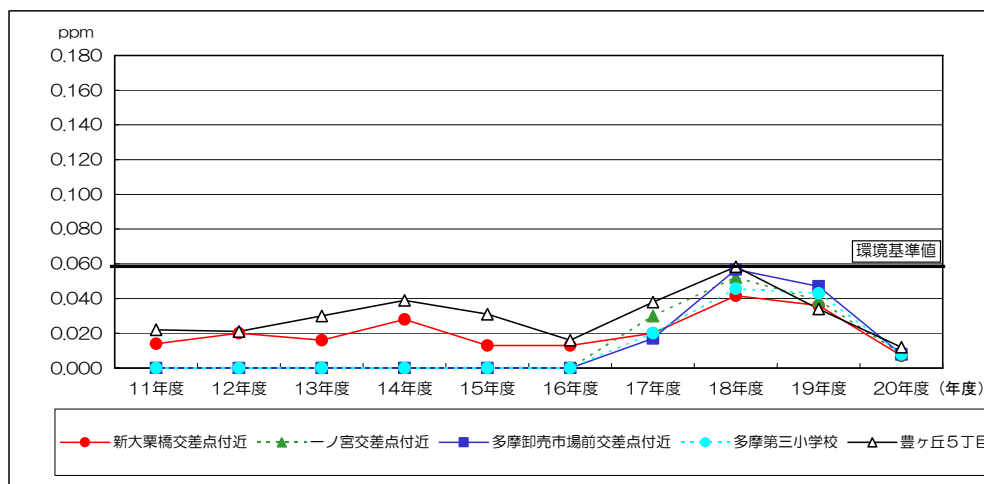
- ・ 大気環境の経年推移
- ・ 河川水質の経年推移
- ・ 道路交通騒音の経年推移
- ・ 道路交通振動の経年変化

大気環境の経年推移

光化学オキシダント経年変化（昼間（AM5～PM8）の年間平均値）【環境基準：0.06ppm以下（時間値）】

単位：ppm

調査地点	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
新大栗橋交差点付近	0.014	0.020	0.016	0.028	0.013	0.013	0.020	0.042	0.036	0.007
一ノ宮交差点付近	-	-	-	-	-	-	0.030	0.052	0.039	0.008
多摩卸売市場前交差点付近	-	-	-	-	-	-	0.017	0.057	0.047	0.008
多摩第三小学校	-	-	-	-	-	-	0.020	0.046	0.043	0.008
豊ヶ丘5丁目	0.022	0.021	0.030	0.039	0.031	0.016	0.038	0.058	0.034	0.012

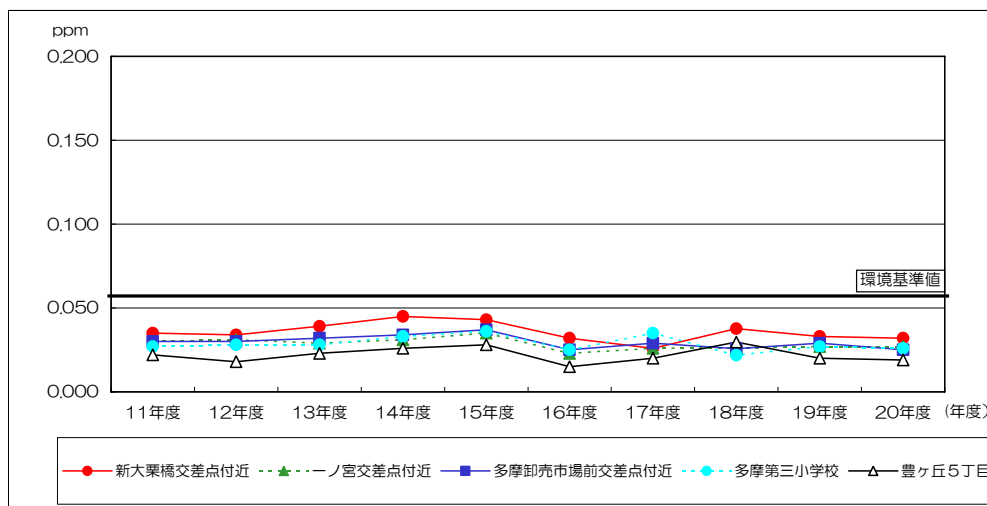


※光化学オキシダントは昼間の1時間値を環境基準値と比較するため、実際は1日の測定のうち1時間でも環境基準値を超えれば環境基準を超過したことになります。上記の経年変化として作成した表・グラフは、毎年の変化を把握するため、その年の昼間の測定値の平均値で表しています。

二酸化窒素経年変化（年間平均値）【環境基準：0.06ppm以下（日平均値）】

単位：ppm

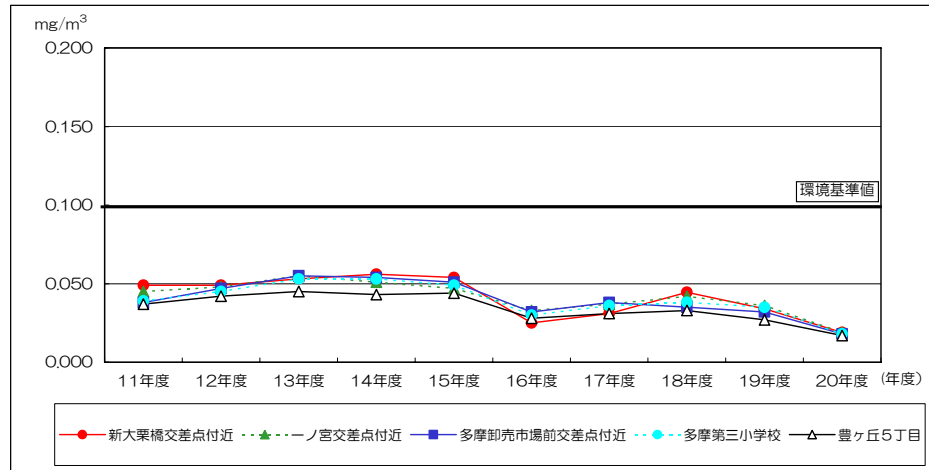
調査地点	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
新大栗橋交差点付近	0.035	0.034	0.039	0.045	0.043	0.032	0.026	0.038	0.033	0.032
一ノ宮交差点付近	0.030	0.031	0.029	0.031	0.035	0.023	0.026	0.026	0.027	0.027
多摩卸売市場前交差点付近	0.030	0.030	0.032	0.034	0.037	0.025	0.029	0.026	0.029	0.025
多摩第三小学校	0.027	0.028	0.028	0.033	0.036	0.025	0.035	0.022	0.027	0.026
豊ヶ丘5丁目	0.022	0.018	0.023	0.026	0.028	0.015	0.020	0.030	0.020	0.019



浮遊粒子状物質経年変化（年間平均値）【環境基準：0.10mg/m³以下（日平均値）】

単位：mg/m³

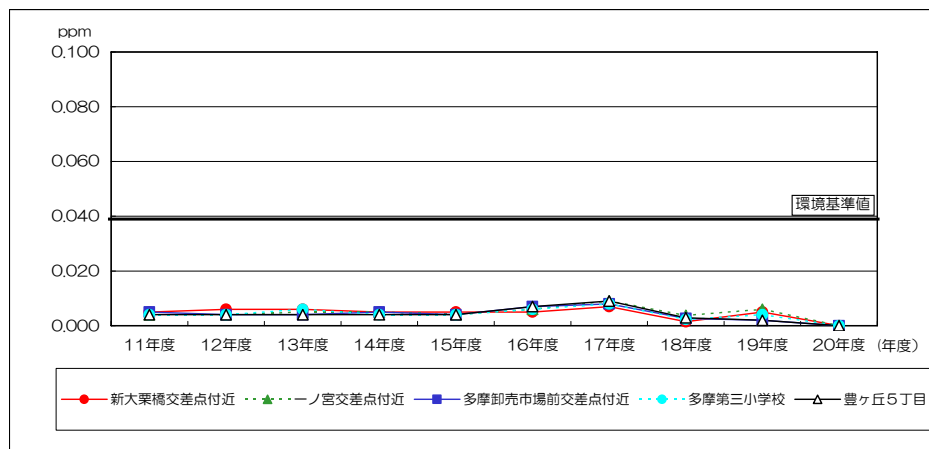
調査地点	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
新大栗橋交差点付近	0.049	0.049	0.053	0.056	0.054	0.025	0.031	0.045	0.034	0.019
一ノ宮交差点付近	0.045	0.048	0.055	0.051	0.047	0.033	0.037	0.042	0.036	0.019
多摩卸売市場前交差点付近	0.038	0.047	0.055	0.054	0.051	0.032	0.038	0.035	0.032	0.018
多摩第三小学校	0.039	0.045	0.053	0.053	0.049	0.030	0.036	0.038	0.035	0.018
豊ヶ丘5丁目	0.037	0.042	0.045	0.043	0.044	0.028	0.031	0.033	0.027	0.017



二酸化いおう経年変化（年間平均値）【環境基準：0.04ppm以下（日平均値）】

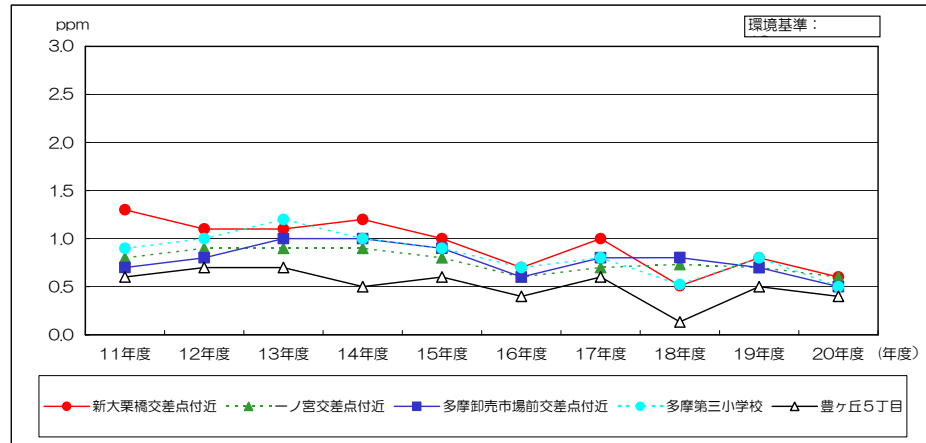
単位：ppm

調査地点	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
新大栗橋交差点付近	0.005	0.006	0.006	0.005	0.005	0.005	0.007	0.001	0.005	0.000
一ノ宮交差点付近	0.004	0.004	0.005	0.005	0.004	0.006	0.009	0.004	0.006	0.000
多摩卸売市場前交差点付近	0.005	0.004	0.004	0.005	0.004	0.007	0.008	0.003	0.002	0.000
多摩第三小学校	0.004	0.004	0.006	0.004	0.004	0.006	0.008	0.002	0.004	0.000
豊ヶ丘5丁目	0.004	0.004	0.004	0.004	0.004	0.007	0.009	0.003	0.002	0.000



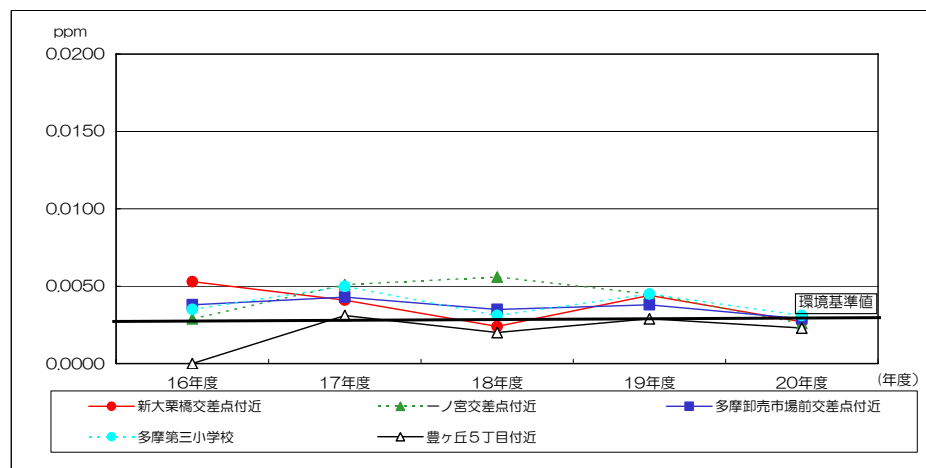
一酸化炭素経年変化（年間平均値）【環境基準:10ppm以下（日平均値）】

調査地点	単位：ppm									
	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
新大栗橋交差点付近	1.3	1.1	1.1	1.2	1.0	0.7	1.0	0.5	0.8	0.6
一ノ宮交差点付近	0.8	0.9	0.9	0.9	0.8	0.6	0.7	0.7	0.7	0.6
多摩卸売市場前交差点付近	0.7	0.8	1.0	1.0	0.9	0.6	0.8	0.8	0.7	0.5
多摩第三小学校	0.9	1.0	1.2	1.0	0.9	0.7	0.8	0.5	0.8	0.5
豊ヶ丘5丁目	0.6	0.7	0.7	0.5	0.6	0.4	0.6	0.1	0.5	0.4



ベンゼン経年変化（日平均値）【環境基準：0.003mg/m³以下（年間平均値）】

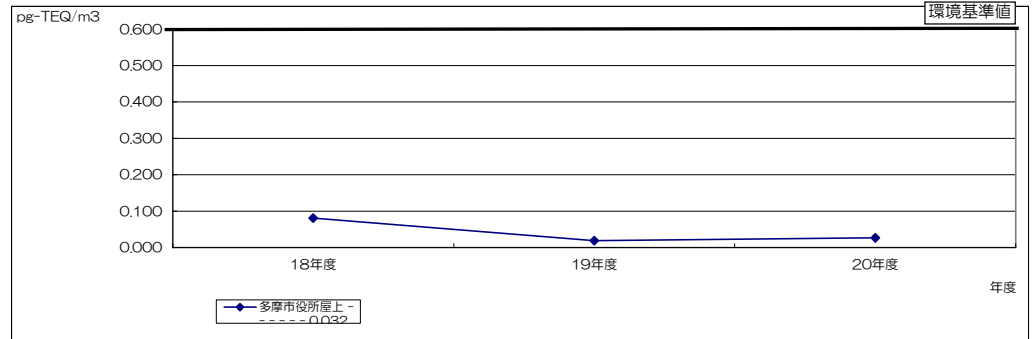
調査地点	単位：mg/m ³									
	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
新大栗橋交差点付近	-	-	-	-	0.0037	0.0053	0.0041	0.0024	0.0044	0.0027
一ノ宮交差点付近	-	-	-	-	0.0032	0.0029	0.0051	0.0056	0.0045	0.0026
多摩卸売市場前交差点付近	-	-	-	-	0.0033	0.0038	0.0043	0.0035	0.0038	0.0029
多摩第三小学校	-	-	-	-	0.0038	0.0035	0.0050	0.0031	0.0045	0.0031
豊ヶ丘5丁目付近	-	-	-	-	-	-	0.0031	0.0020	0.0029	0.0023



ダイオキシン類経年変化【環境基準：0.6pg-TEQ/m³以下（年間平均値）】

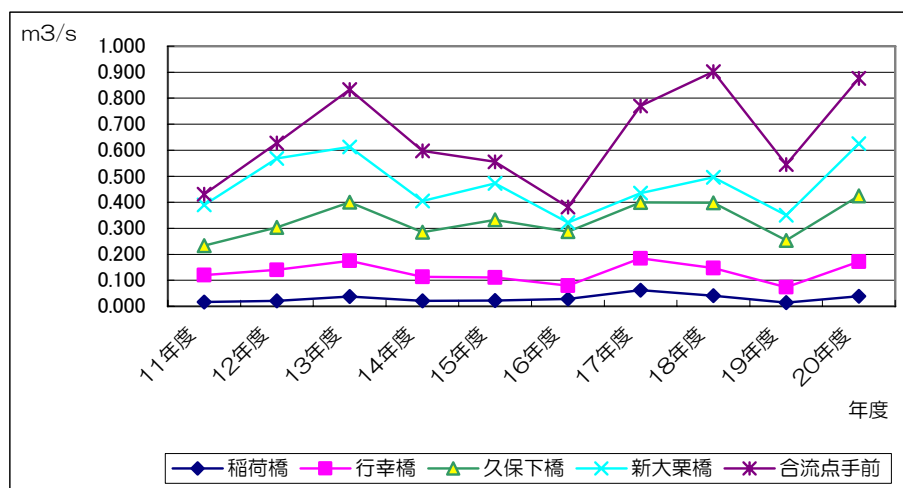
単位：pg-TEQ/m³

調査地点	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
多摩市役所屋上	-	-	-	-	-	-	0.032	0.081	0.019	0.027

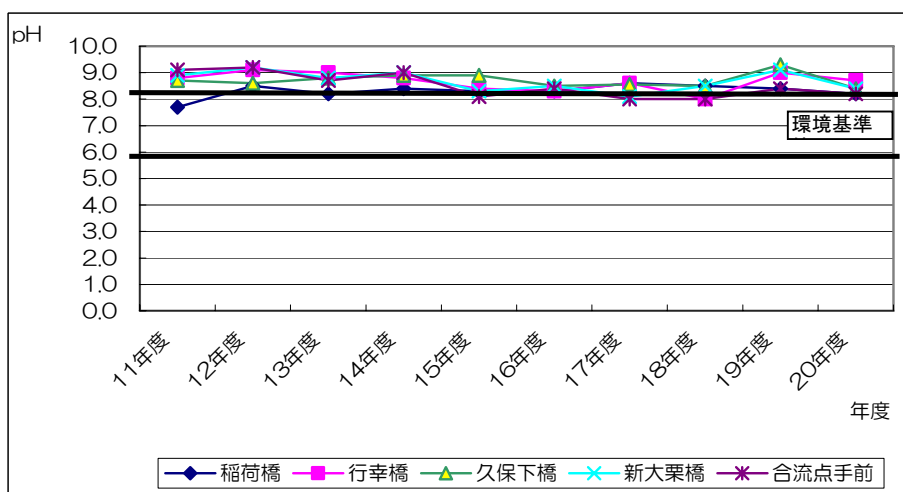


河川水質の経年推移（年間平均値）

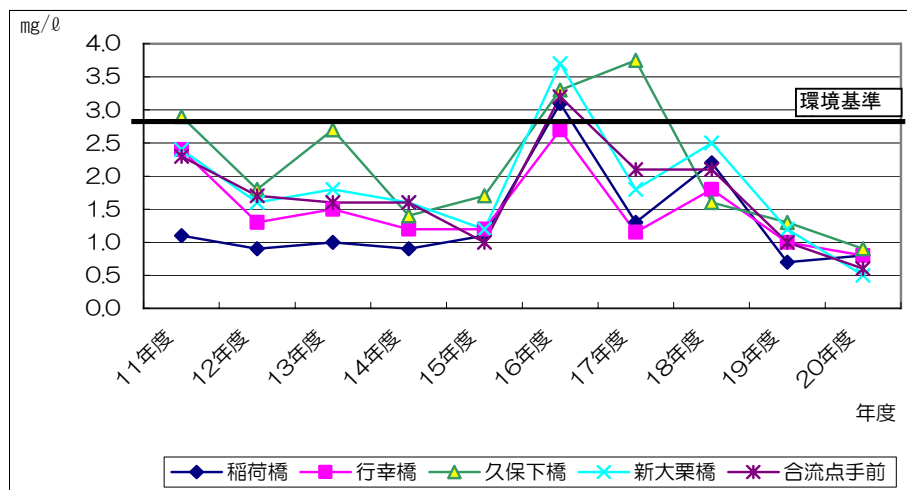
項目	調査地点	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
流量 (m ³ /s)	稲荷橋	0.016	0.021	0.037	0.021	0.022	0.028	0.062	0.041	0.014	0.038
	行幸橋	0.120	0.140	0.175	0.113	0.111	0.079	0.185	0.147	0.074	0.171
	久保下橋	0.233	0.303	0.400	0.285	0.333	0.287	0.399	0.398	0.253	0.425
	新大栗橋	0.390	0.568	0.613	0.405	0.473	0.322	0.436	0.496	0.350	0.625
	合流点手前	0.430	0.628	0.833	0.598	0.555	0.382	0.770	0.902	0.545	0.876



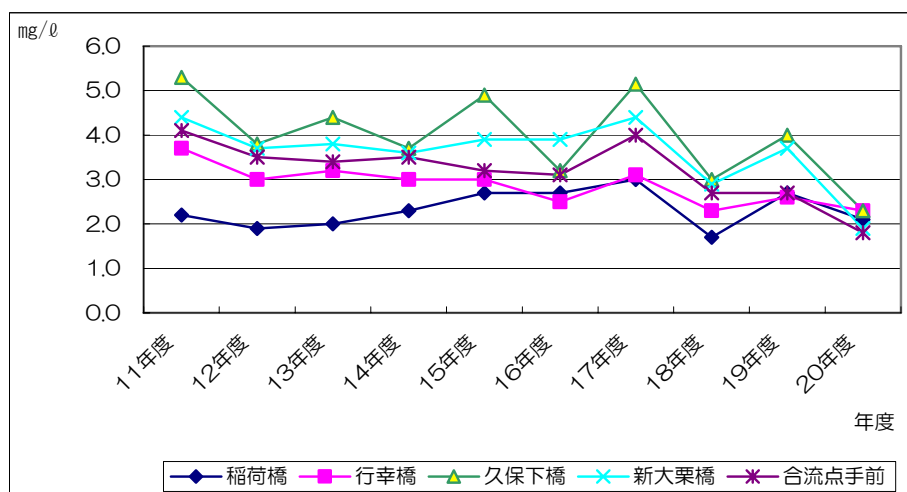
項目	調査地点	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
pH 環境基準 6.5~8.5	稲荷橋	7.7	8.5	8.2	8.4	8.3	8.3	8.6	8.5	8.4	8.2
	行幸橋	8.8	9.1	9.0	8.8	8.4	8.3	8.6	8.0	9.0	8.7
	久保下橋	8.7	8.6	8.8	8.9	8.9	8.5	8.6	8.5	9.3	8.4
	新大栗橋	8.9	9.2	8.8	9.0	8.3	8.5	8.1	8.5	9.1	8.4
	合流点手前	9.1	9.2	8.7	9.0	8.1	8.4	8.0	8.0	8.4	8.2



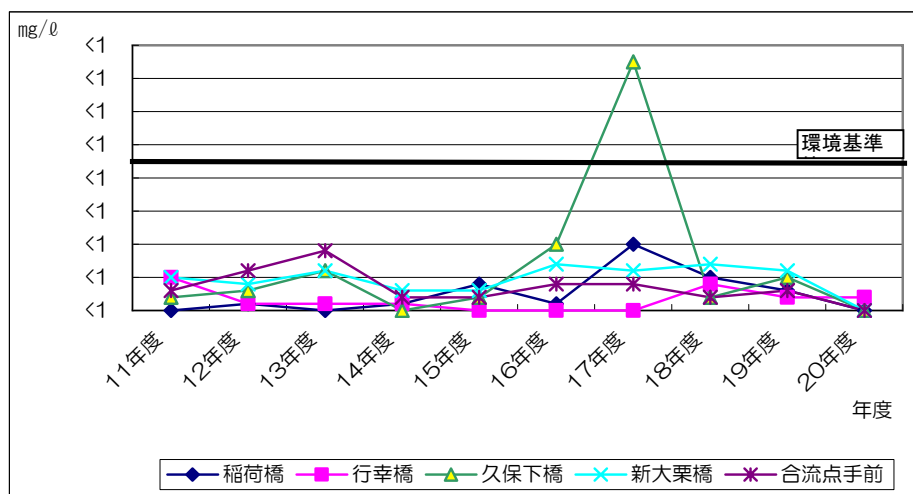
項目	調査地点	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
BOD (mg/ℓ) 環境基準 3mg/ℓ	稲荷橋	1.1	0.9	1.0	0.9	1.1	3.1	1.3	2.2	0.7	0.8
	行幸橋	2.4	1.3	1.5	1.2	1.2	2.7	1.2	1.8	1.0	0.8
	久保下橋	2.9	1.8	2.7	1.4	1.7	3.3	3.8	1.6	1.3	0.9
	新大栗橋	2.4	1.6	1.8	1.6	1.2	3.7	1.8	2.5	1.2	0.5
	合流点手前	2.3	1.7	1.6	1.6	1.0	3.2	2.1	2.1	1.0	0.6



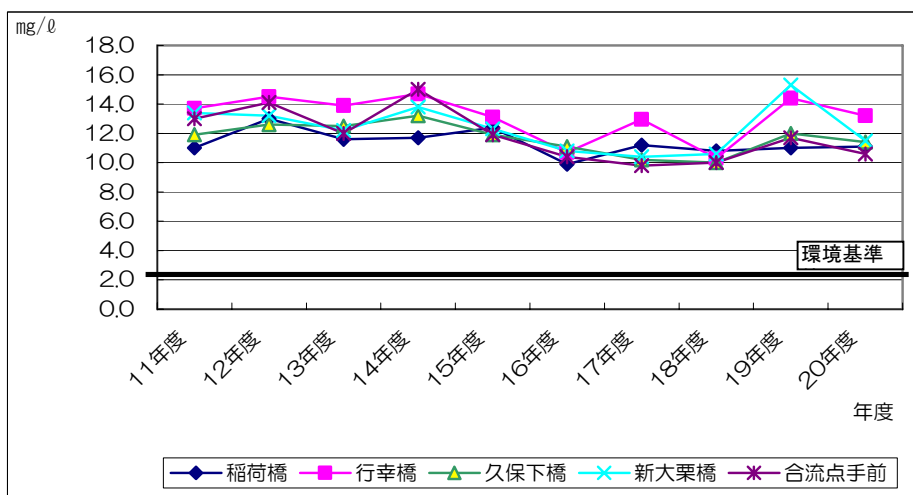
項目	調査地点	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
COD (mg/ℓ)	稲荷橋	2.2	1.9	2.0	2.3	2.7	2.7	3.0	1.7	2.7	2.1
	行幸橋	3.7	3.0	3.2	3.0	3.0	2.5	3.1	2.3	2.6	2.3
	久保下橋	5.3	3.8	4.4	3.7	4.9	3.2	5.2	3.0	4.0	2.3
	新大栗橋	4.4	3.7	3.8	3.6	3.9	3.9	4.4	2.9	3.7	1.9
	合流点手前	4.1	3.5	3.4	3.5	3.2	3.1	4.0	2.7	2.7	1.8



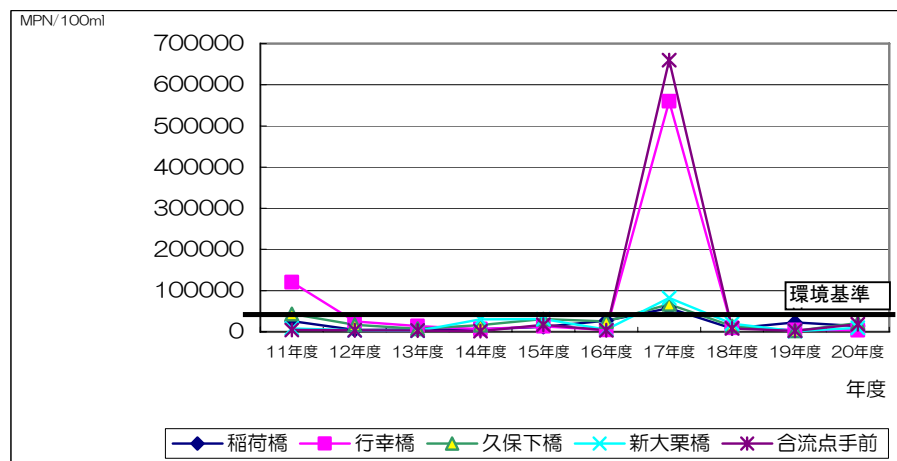
項目	調査地点	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
SS (mg/ℓ) 環境基準 25mg/ℓ以下	稻荷橋	<1	1	<1	1	4	1	10	5	3	<1
	行幸橋	5	1	1	1	<1	<1	<1	4	2	2
	久保下橋	2	3	6	<1	2	10	38	2	5	<1
	新大栗橋	5	4	6	3	3	7	6	7	6	<1
	合流点手前	3	6	9	2	2	4	4	2	3	<1



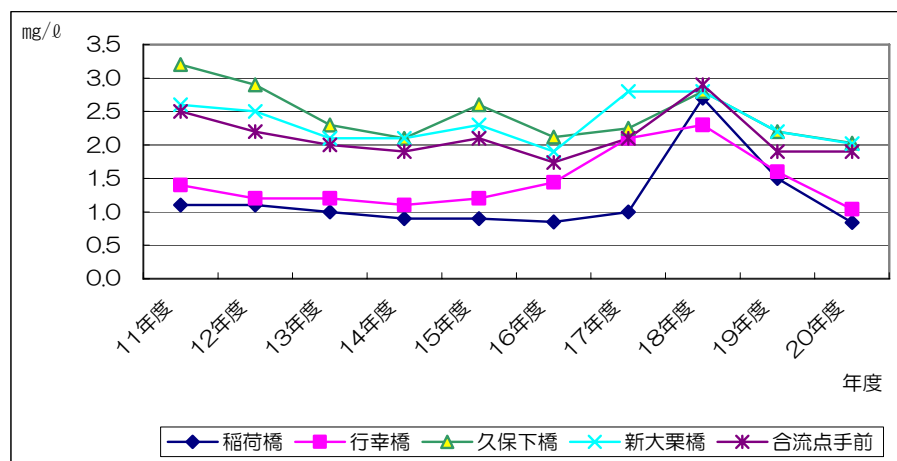
項目	調査地点	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
DO (mg/ℓ) 環境基準 5mg/ℓ以上	稻荷橋	11.0	13.0	11.6	11.7	12.4	9.9	11.2	10.8	11.0	11.1
	行幸橋	13.7	14.5	13.9	14.7	13.1	10.7	13.0	10.3	14.4	13.2
	久保下橋	11.9	12.6	12.5	13.2	11.9	11.1	10.2	10.0	12.0	11.4
	新大栗橋	13.4	13.2	12.2	13.8	12.3	10.8	10.4	10.6	15.3	11.5
	合流点手前	13.0	14.1	12.0	15.0	11.9	10.4	9.8	10.0	11.7	10.6



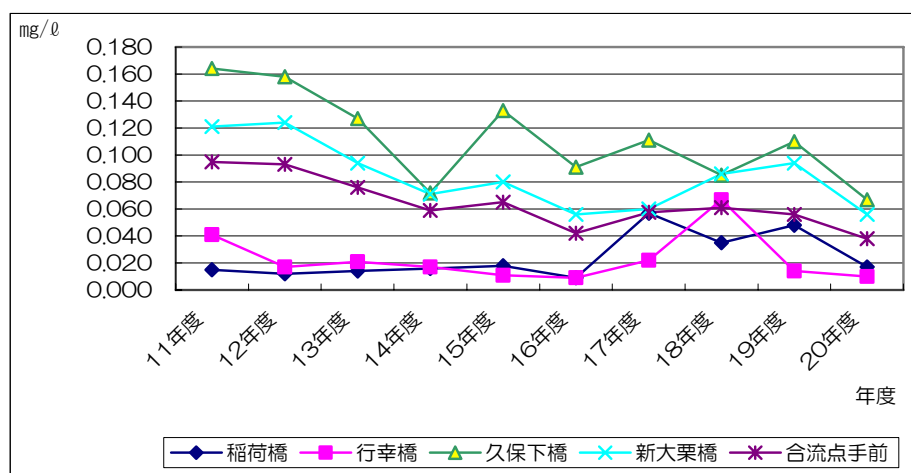
項目	調査地点	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
大腸菌群数 (MPN/100ml)	稲荷橋	26000	4200	5500	5800	12000	27000	57000	7900	23000	14000
	行幸橋	120000	25000	14000	6700	13000	4700	560000	9500	4100	3600
	久保下橋	43000	17000	7000	16000	31000	25000	67000	14000	2500	21000
環境基準 5000MPN/100ml	新大栗橋	7800	3500	2400	30000	31000	5000	82000	20000	1200	9700
	合流点手前	4700	3600	2700	1700	17000	3400	660000	8000	2200	18000



項目	調査地点	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
T-N (mg/l)	稲荷橋	1.1	1.1	1.0	0.9	0.9	0.85	1.0	2.7	1.5	0.8
	行幸橋	1.4	1.2	1.2	1.1	1.2	1.44	2.1	2.3	1.6	1.0
	久保下橋	3.2	2.9	2.3	2.1	2.6	2.12	2.3	2.8	2.2	2.0
	新大栗橋	2.6	2.5	2.1	2.1	2.3	1.90	2.8	2.8	2.2	2.0
	合流点手前	2.5	2.2	2.0	1.9	2.1	1.74	2.1	2.9	1.9	1.9



項目	調査地点	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
T-P (mg/ℓ)	稻荷橋	0.015	0.012	0.014	0.016	0.018	0.009	0.057	0.035	0.048	0.017
	行幸橋	0.041	0.017	0.021	0.017	0.011	0.009	0.022	0.067	0.014	0.010
	久保下橋	0.164	0.158	0.127	0.072	0.133	0.091	0.111	0.085	0.110	0.067
	新大栗橋	0.121	0.124	0.094	0.071	0.080	0.056	0.060	0.086	0.094	0.056
	合流点手前	0.095	0.093	0.076	0.059	0.065	0.042	0.058	0.061	0.056	0.038

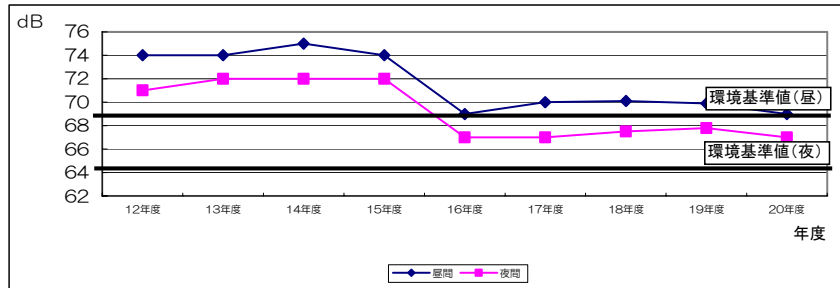


道路交通騒音の経年推移

No.1 新大栗橋交差点付近

	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
昼間	74	74	75	74	69	70	70.1	69.9	69.0
夜間	71	72	72	72	67	67	67.5	67.8	67.0

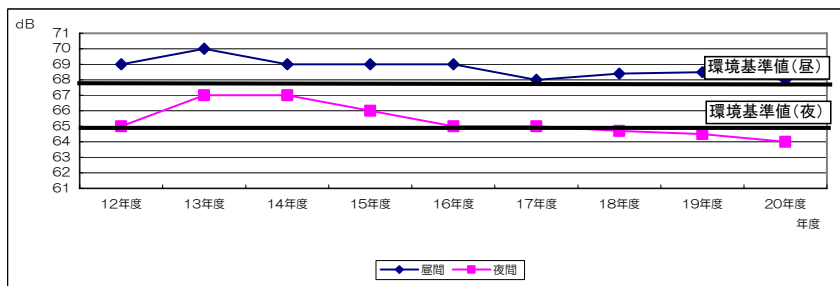
(dB)



No.2 一ノ宮交差点付近

	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
昼間	69	70	69	69	69	68	68.4	68.5	68.0
夜間	65	67	67	66	65	65	64.7	64.5	64.0

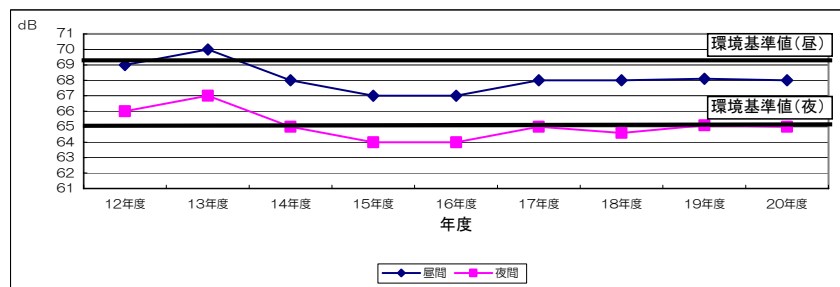
(dB)



No.3 多摩卸売市場前交差点付近

	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
昼間	69	70	68	67	67	68	68.0	68.1	68.0
夜間	66	67	65	64	64	65	64.6	65.1	65.0

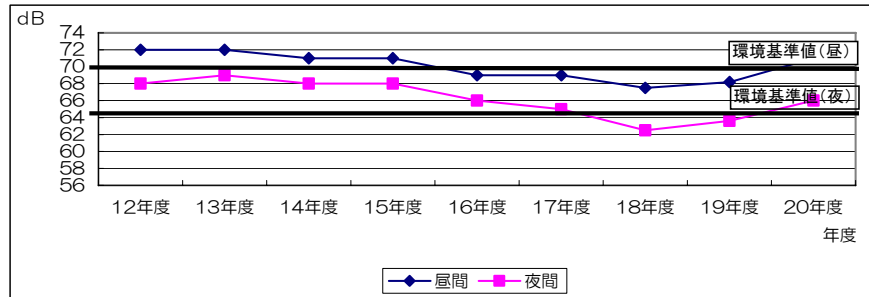
(dB)



No.4 多摩山王橋交差点付近

	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
昼間	72	72	71	71	69	69	67.5	68.2	71.0
夜間	68	69	68	68	66	65	62.5	63.6	66.0

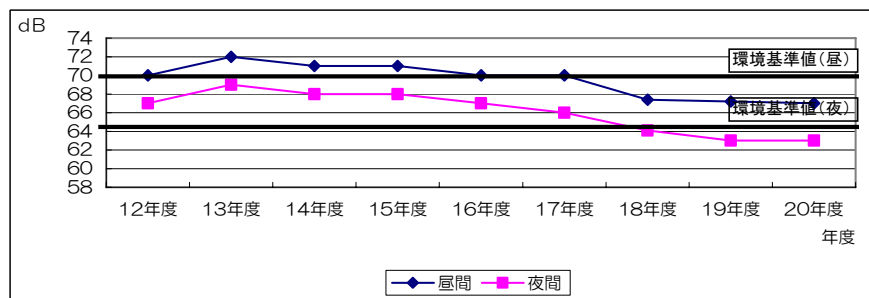
(dB)



No.5 多摩第三小学校

	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
昼間	70	72	71	71	70	70	67.4	67.2	67.0
夜間	67	69	68	68	67	66	64.1	63.0	63.0

(dB)

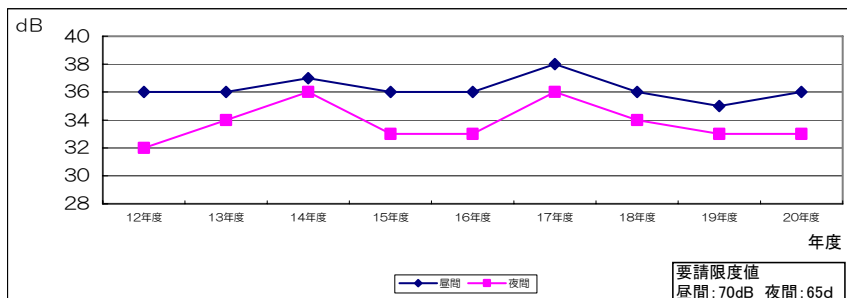


道路交通振動の経年推移

No.1 新大栗橋交差点付近

	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
昼間	36	36	37	36	36	38	36	35	36
夜間	32	34	36	33	33	36	34	33	33

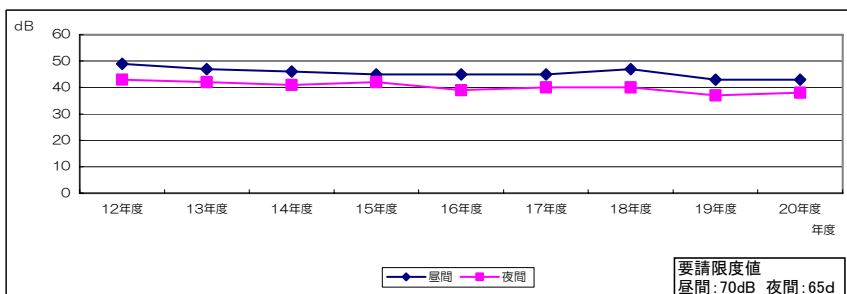
(dB)



No.2 一ノ宮交差点付近

	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
昼間	49	47	46	45	45	45	47	43	43
夜間	43	42	41	42	39	40	40	37	38

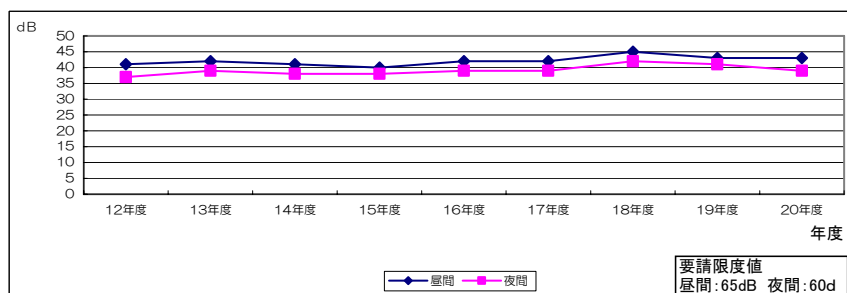
(dB)



No.3 多摩卸売市場前交差点付近

	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
昼間	41	42	41	40	42	42	45	43	43
夜間	37	39	38	38	39	39	42	41	39

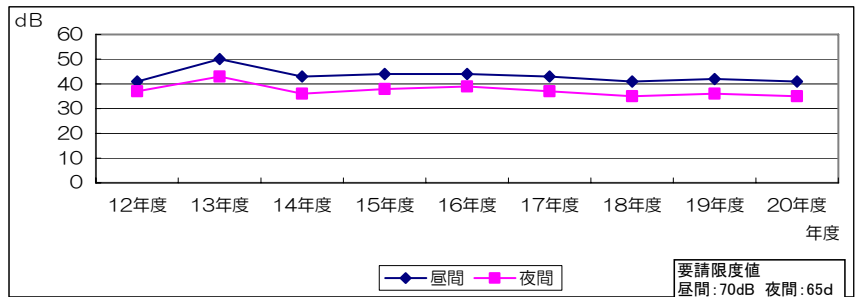
(dB)



No.4 多摩山王橋交差点付近

	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
昼間	41	50	43	44	44	43	41	42	41
夜間	37	43	36	38	39	37	35	36	35

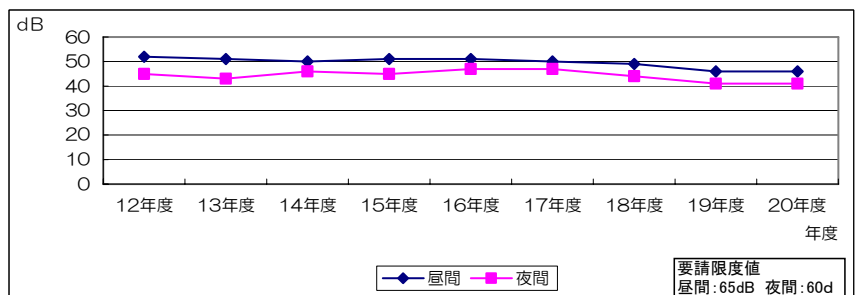
(dB)



No.5 多摩第三小学校

	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
昼間	52	51	50	51	51	50	49	46	46
夜間	45	43	46	45	47	47	44	41	41

(dB)



3 環境基準等

- ・ 大気汚染に係る環境基準
- ・ 水質汚濁に係る環境基準
- ・ 環境省が設置する水浴場の水質判定基準
- ・ 騒音に係る環境基準
- ・ ダイオキシン類に係る環境基準

《大気汚染に係る環境基準》

1. 大気汚染に係る環境基準

物質	環境上の条件
二酸化いおう (SO ₂)	1時間値の1日平均値が0.04ppm以下であり、かつ、1時間値が0.1ppm以下であること。
一酸化炭素 (CO)	1時間値の1日平均値が10ppm以下であり、かつ、1時間値の8時間平均値が20ppm以下であること。
浮遊粒子状物質 (SPM)	1時間値の1日平均値が0.10mg/m ³ 以下であり、かつ、1時間値が0.20mg/m ³ 以下であること。
二酸化窒素 (NO ₂)	1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下であること。
光化学オキシダント (OX)	1時間値が0.06ppm以下であること。

2. 有害大気汚染物質（ベンゼン等）に係る環境基準

物質	環境上の条件
ベンゼン	1年平均値が0.003mg/m ³ 以下であること。
トリクロロエチレン	1年平均値が0.2mg/m ³ 以下であること。
テトラクロロエチレン	1年平均値が0.2mg/m ³ 以下であること。
ジクロロメタン	1年平均値が0.15mg/m ³ 以下であること。

3. ダイオキシン類に係る環境基準

物質	環境上の条件
ダイオキシン類	1年平均値が0.6pg-TEQ/m ³ 以下であること。

《水質汚濁に係る環境基準》

1. 生活環境の保全に関する環境基準

項目 類型	利用目的の 適応性	基準値				
		水素イオン 濃度 (pH)	生物化学的 酸素要求量 (BOD)	浮遊物質量 (SS)	溶存酸素量 (DO)	大腸菌群数
B	水道3級	6.5以上	3mg/l	25mg/l	5mg/l	5,000MPN/ 100ml以下
	水産2級 及びC以下の欄 に掲げるもの	8.5以下	以下	以下	以上	

2. 人の健康の保護に関する環境基準

項目	基準値
カドミウム	0.01mg/l以下
全シアン	検出されないこと。
鉛	0.01mg/l以下
六価クロム	0.05mg/l以下
砒素	0.01mg/l以下
総水銀	0.0005mg/l以下
アルキル水銀	検出されないこと。
PCB	検出されないこと。
ジクロロメタン	0.02mg/l以下
四塩化炭素	0.002mg/l以下
1,2-ジクロロエタン	0.004mg/l以下
1,1-ジクロロエチレン	0.02mg/l以下
シス-1,2-ジクロロエチレン	0.04mg/l以下
1,1,1-トリクロロエタン	1mg/l以下
1,1,2-トリクロロエタン	0.006mg/l以下
トリクロロエチレン	0.03mg/l以下
テトラクロロエチレン	0.01mg/l以下
1,3-ジクロロプロペン	0.002mg/l以下
チウラム	0.006mg/l以下
シマジン	0.003mg/l以下
チオベンカルブ	0.02mg/l以下
ベンゼン	0.01mg/l以下
セレン	0.01mg/l以下
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	10mg/l以下
ふっ素	0.8mg/l以下
ほう素	1mg/l以下

※環境省が設置する水浴場の水質判定基準

区分	ふん便性大腸菌群数	油膜の有無	COD	透明度	
適	水質 AA	不検出 (検出限界 2 個/100mL)	油膜が認められない	2mg/L 以下	全透 (水深1m 以上)
	水質 A	100 個/100mL 以下	油膜が認められない	2mg/L 以下	全透 (水深1m 以上)
可	水質 B	400 個/100mL 以下	常時は油膜が認められない	5mg/L 以下	水深1m 未満～ 50cm 以上
	水質 C	1000 個/100mL 以下	常時は油膜が認められない	8mg/L 以下	水深1m 未満～ 50cm 以上
不適	1000 個/100mL を超えるもの	常時油膜が認められる	8mg/L 超	水深 50cm 未満	

《騒音に係る環境基準》

多摩市における道路交通騒音測定は、すべて都道に面した地点で調査を行っているため、「幹線交通を担う道路に近接する空間」として取扱っている。

基準値	
昼間	夜間
70デシベル以下	65デシベル以下

※騒音規制法の自動車騒音に係る要請限度

区域の区分	当てはめ地域	車線等	時間の区分	
			昼間 (6時～22時)	夜間 (22時～翌6時)
a区域	第1種低層住居専用地域	1車線	65デシベル	55デシベル
	第2種低層住居専用地域	2車線以上	70デシベル	65デシベル
	第1種中高層住居専用地域 第2種中高層住居専用地域 (AA地域を含む)	近接区域	75デシベル	70デシベル
b区域	第1種住居地域	1車線	65デシベル	55デシベル
	第2種住居地域 準住居地域 用途地域の定めのない地域	2車線以上 近接区域	75デシベル	70デシベル
c区域	近隣商業地域 商業地域 準工業地域 工業地域	1車線 2車線以上 近接区域	75デシベル	70デシベル
記 事	<ul style="list-style-type: none"> ・車線とは1縦列の自動車及安全かつ円滑に走行するために必要な幅員を有する帯状の車道部分をいう。 ・近接区域とは、幹線交通を担う道路に近接する区域をいい、幹線交通を担う道路とは、高速自動車国道、一般国道、都道府県道及び4車線以上の区市町村道をいう。近接する区域とは、車線の区分に応じた道路端からの距離が2車線以下の車線を有する道路は15m、2車線を越える車線を有する道路は20mの範囲とする。 			

《ダイオキシン類に係る環境基準》

媒 体	基 準 値	測 定 方 法
大 気	0.6pg-TEQ/m ³ 以下	ポリウレタンフォームを装着した採取筒をろ紙後段に取り付けたエアサンプラーにより採取した試料を高分解能ガスクロマトグラフ質量分析計により測定する方法
水 質 (水底の底質を除く。)	1pg-TEQ/l 以下	日本工業規格K0312 に定める方法
水底の底質	150pg-TEQ/g 以下	水底の底質中に含まれるダイオキシン類をソックスレー抽出し、高分解能ガスクロマトグラフ質量分析計により測定する方法
土 壌	1,000pg-TEQ/g 以下	土壌中に含まれるダイオキシン類をソックスレー抽出し、高分解能ガスクロマトグラフ質量分析計により測定する方法

Ⅲ 各種管理指標の 推移データ

自然環境の保全等

みどりの保全・創出

管理指標	17年度	18年度	19年度	20年度	目標年次 (22年度)
将来にわたって永続性の高い緑地面積率	33.58	33.91	34.17	35.43	永続性の高い緑地面積率37%以上

水辺環境の保全・回復

【大栗川】（調査回数：年2回）

管理指標	18年度			19年度			20年度			目標年次 (22年度)
	久保下橋	新大栗橋	合流点手前	久保下橋	新大栗橋	合流点手前	久保下橋	新大栗橋	合流点手前	
BOD濃度が環境基準値を下回った割合	2/2	2/2	2/2	2/2	2/2	2/2	2/2	2/2	2/2	2/2
河川流量 (m ³ /s)	0.40	0.50	0.90	0.253	0.350	0.545	0.425	0.625	0.876	増やす
魚類の種数(種)	4	2	8	7	9	9	6	9	8	-
魚類の個体数(尾)	70	90	85	33	55	110	16	20	90	-

【乞田川】（調査回数：年2回）

管理指標	18年度		19年度		20年度		目標年次 (22年度)
	稻荷橋	行幸橋	稻荷橋	行幸橋	稻荷橋	行幸橋	
BOD濃度が環境基準値を下回った割合	2/2	2/2	2/2	2/2	2/2	2/2	2/2
河川流量 (m ³ /s)	0.041	0.147	0.014	0.074	0.038	0.171	増やす
魚類の種数(種)	1	1	2	4	2	6	-
魚類の個体数(尾)	8	3	25	82	16	20	-

※ 魚類の種数及び個体数の調査方法：基準線を中心に上下流域各20m（計40m）の範囲を3人で1時間採取し集計する。

※ 定点での調査のため、天候や川の状況により毎年増減し、川全体の正確な数の把握には至らない。

【多摩川】（調査回数：年2回）

管理指標	18年度	19年度	20年度	目標年次 (22年度)
	稲城市境	稲城市境	稲城市境	
BOD濃度が環境基準値を下回った割合	2/2	2/2	2/2	2/2

都市環境の保全等

公園緑地の確保

管理指標	18年度	19年度	20年度	目標年次 (22年度)
1人当たりの都市公園面積 (広域公園を含まない) (㎡)	13.09	13.54	13.48	増やす
市民参加の管理公園数 (ヶ所)	149	146	148	増やす

●多摩市の公園緑地整備量 (平成21年4月1日現在)

出展：多摩市みどりと環境課資料 (平成21年4月)

区分	ニュータウン地域		既存地域		合計	
	公園数 (カ所)	面積 (㎡)	公園数 (カ所)	面積 (㎡)	公園数 (カ所)	面積 (㎡)
街区公園	77	318,852.65	56	82,892.54	133	401,745.19
近隣公園	16	496,268.27	9	180,349.52	25	649,617.79
地区公園	2	172,511.82	1	11,583.03	3	184,094.85
総合公園	1	114,855.40	0	0.00	1	114,855.40
都市緑地	31	557,604.47	12	85,464.15	43	643,068.62
小計	127	1,633,092.61	78	360,289.24	205	1,993,381.85
広域公園	0	0.00	(1)	285,372.00	(1)	285,372.00
児童遊園	0	0.00	0	0.00	0	0.00
合計	127	1,633,092.61	78	645,661.24	205	2,278,753.85
市民1人当たりの公園面積	16.46		7.51		13.48	
人口 (外国人登録含む)	99,569		48,264		147,833	

景観の保全・創出

管理指標		18年度	19年度	20年度	目標年次 (22年度)
地区まちづくり計画 を策定している地区 の数	地区計画 決定地区数	27地区	27地区	28地区	増やす
	建築協定 締結地区数	16地区	17地区	17地区	増やす
定点からの景観の状況		写真撮影	写真撮影	写真撮影	経過観察

歴史・文化の保全・継承

管理指標		平成18年度	平成19年度	平成20年度
学習講座・ 公演会等	実施数	15事業	20事業	17事業
	参加者数	2,220人	1,809人	2,430人
展示会	実施数	7事業	7事業	5事業
	確認入場者数	72,669人	69,903人	65,864人

まちの美化

管理指標	18年度	19年度	20年度	目標年次 (平成22年度)
捨て看板の回収量	7,147件	2,341件	3,879件	減らす
瞬間路上駐車台数	326台	483台	493台	500台
放置自転車等の台数	562台	349台	316台	700台

公害の防止

大気汚染の防止 環境基準を下回った割合（調査地点数：5地点）

項目	18年度		19年度		20年度		目標年次 (22年度)
	夏	冬	夏	冬	夏	冬	
二酸化いおう	5/5	5/5	5/5	5/5	5/5	5/5	5/5
二酸化窒素	5/5	5/5	5/5	5/5	5/5	5/5	5/5
浮遊粒子状物質	5/5	5/5	5/5	5/5	5/5	5/5	5/5
光化学オキシダント	0/5	-	0/5	-	4/5	-	5/5
一酸化炭素	5/5	5/5	5/5	5/5	5/5	5/5	5/5

● 光化学オキシダント

平成20年度未達成場所及び測定結果：測定日数は7日間

測定地点	測定数値の最高値(ppm)	環境基準を達成した日数/ 測定日数
新大栗橋交差点	0.046	7/7
一ノ宮交差点	0.052	7/7
多摩卸売市場前交差点	0.037	7/7
多摩第三小学校	0.043	7/7
豊ヶ丘5丁目	0.074	6/7

※環境基準：昼間の1時間値が0.06ppm以下であること

水質汚濁の防止 環境基準を下回った割合

【多摩川】（測定地点数：1地点）

項目	18年度		19年度		20年度		目標年次 (22年度)
	春	秋	春	秋	春	秋	
BOD	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1
pH	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1
SS	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1
DO	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1

【大栗川】（測定地点数：3地点）

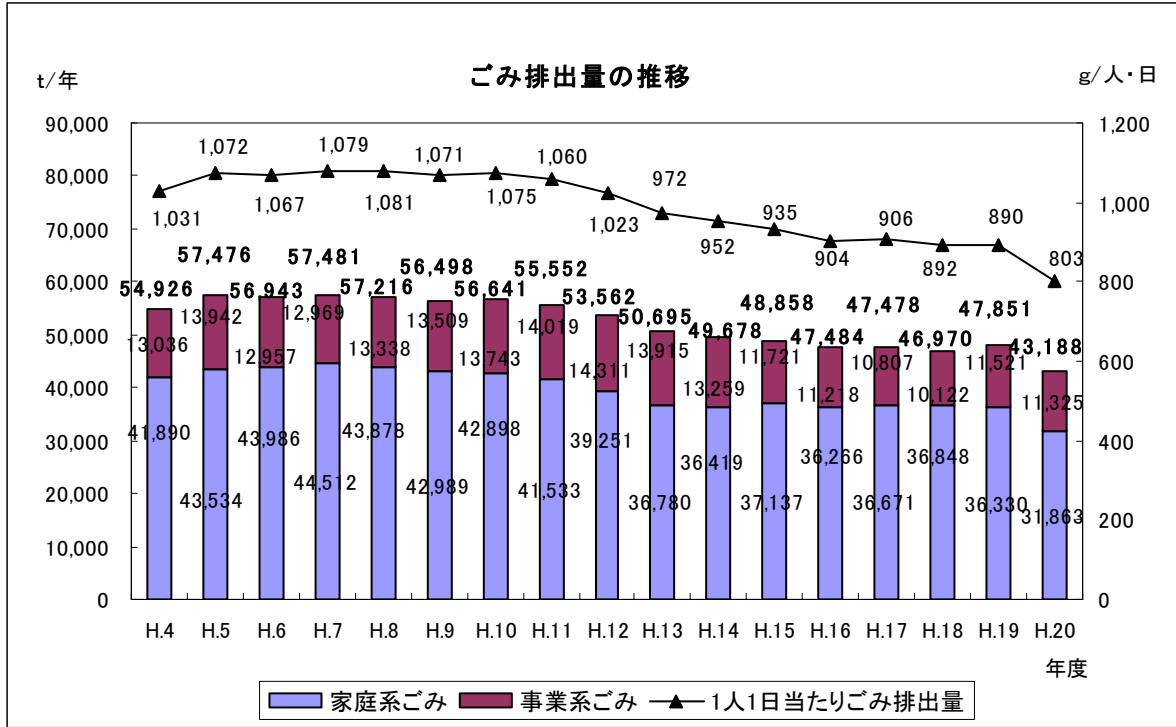
項目	18年度		19年度		20年度		目標年次 (22年度)
	夏	冬	夏	冬	夏	冬	
BOD	3/3	3/3	3/3	3/3	3/3	3/3	3/3
pH	3/3	2/3	0/3	1/3	2/3	3/3	3/3
大腸菌群数	3/3	0/3	3/3	3/3	0/3	2/3	3/3
SS	3/3	3/3	3/3	3/3	3/3	3/3	3/3
DO	3/3	3/3	3/3	3/3	3/3	3/3	3/3

【乞田川】（測定地点数：2地点）

項目	18年度		19年度		20年度		目標年次 (22年度)
	夏	冬	夏	冬	夏	冬	
BOD	2/2	2/2	2/2	2/2	2/2	2/2	2/2
pH	2/2	2/2	1/2	2/2	1/2	1/2	2/2
大腸菌群数	1/2	0/2	1/2	0/2	1/2	2/2	2/2
SS	2/2	2/2	2/2	2/2	2/2	2/2	2/2
DO	2/2	2/2	2/2	2/2	2/2	2/2	2/2

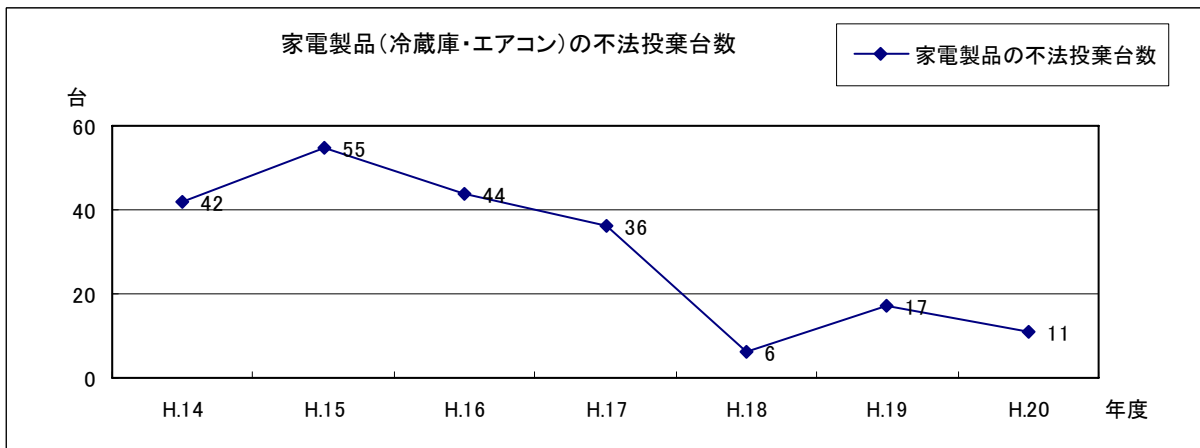
ごみの減量・資源の有効利用

ごみ排出量等の推移

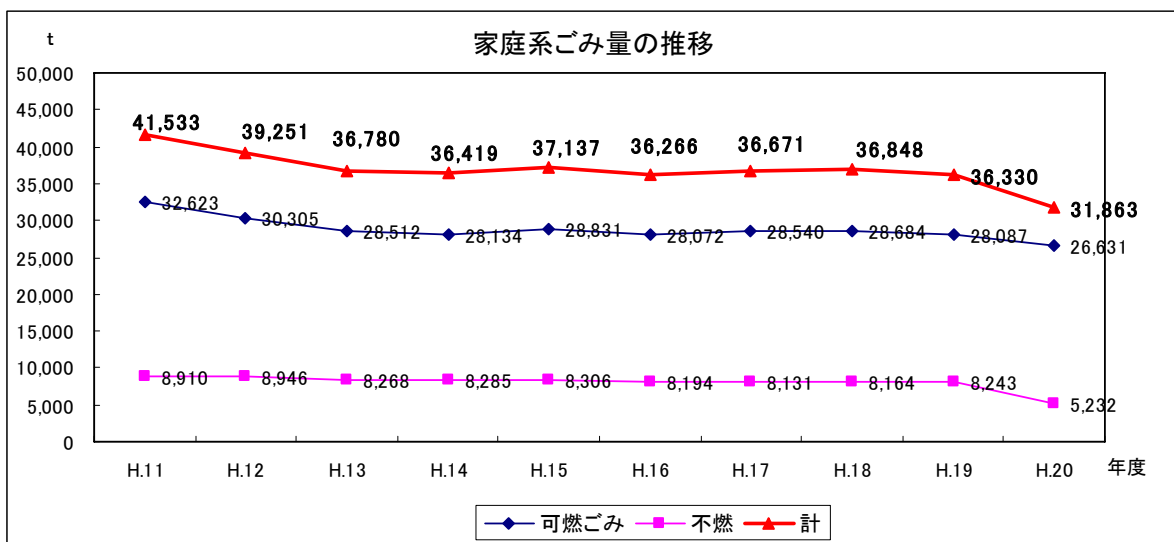


区 分	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
ごみ排出量(t)	47,485	47,478	46,970	47,852	43,188
再生利用率(%)	28.9	26.7	31.6	32.9	35.4
ごみの埋立処分量(t)	4,706	4,265	913	210	89

※再生利用率＝(集団回収量＋工場不燃資源＋焼却鉄＋ごみ固形燃料原料＋乾電池等＋資源化センター＋オフィス町内会) ÷ (総ごみ量＋集団回収量＋オフィス町内会)



※不法投棄物品回収場所：ごみの集積所、公園、市道（ごみの集積所以外の私有地（管理者責任）は対象としていない。）



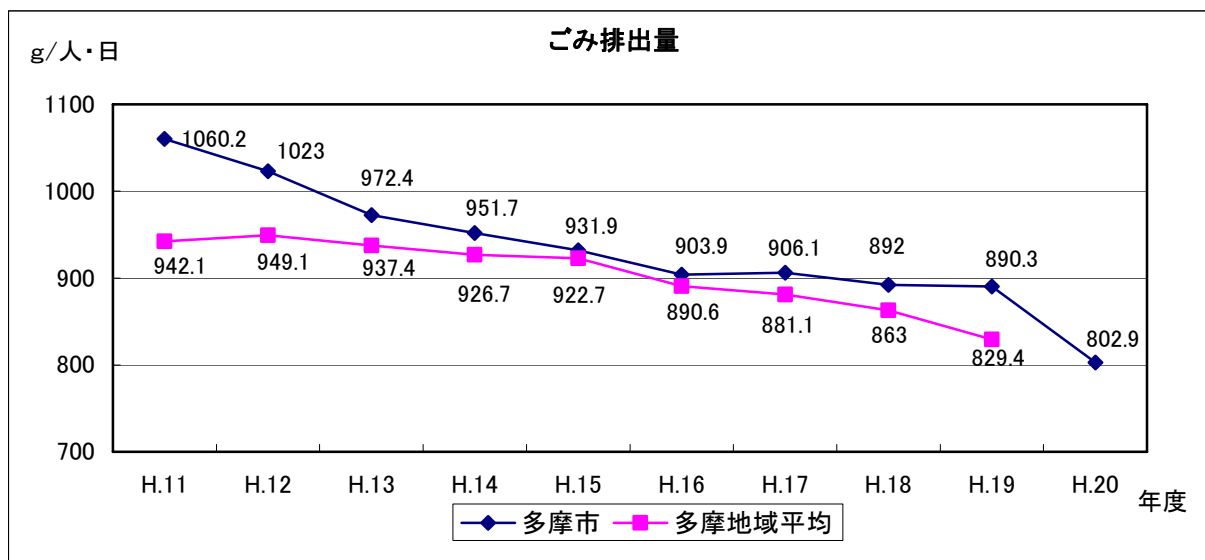
管理指標	18年度	19年度	20年度	目標年次 (22年度)
ごみ排出量 (t)	46,970	47,852	43,188	41,665
1人1日あたり (g)	892.0	890.3	802.9	771
家庭系ごみ排出量 (t)	35,762	36,330	31,863	33,054
1人1日あたり (g)	681.4	675.9	592.4	612
再生利用率 (%)	31.6	32.9	35.4	約31%
ごみの埋立処分量 (t)	913	210	89	ゼロに近づける
リサイクル協力店数 (店)	22	44	99	増やす
エコセメント事業 (t)	3,571	4,192	3,937	-

※ごみ排出量(家庭系+事業系)再生利用率〔総再生利用量／〔ごみ総発生量(総再生利用量含む)〕〕

※「ごみ埋立処分量」の平成22年度目標が「ゼロに近づける」とは、エコセメント事業により焼却灰をセメントとして活用し、埋立処分量を削減できる計画に基づく目標設定。

※家庭系ごみ排出量=収集ごみ+収集資源

● 市町村1人1日平均当りのごみ排出量比較



出典：(財) 東京市町村自治調査

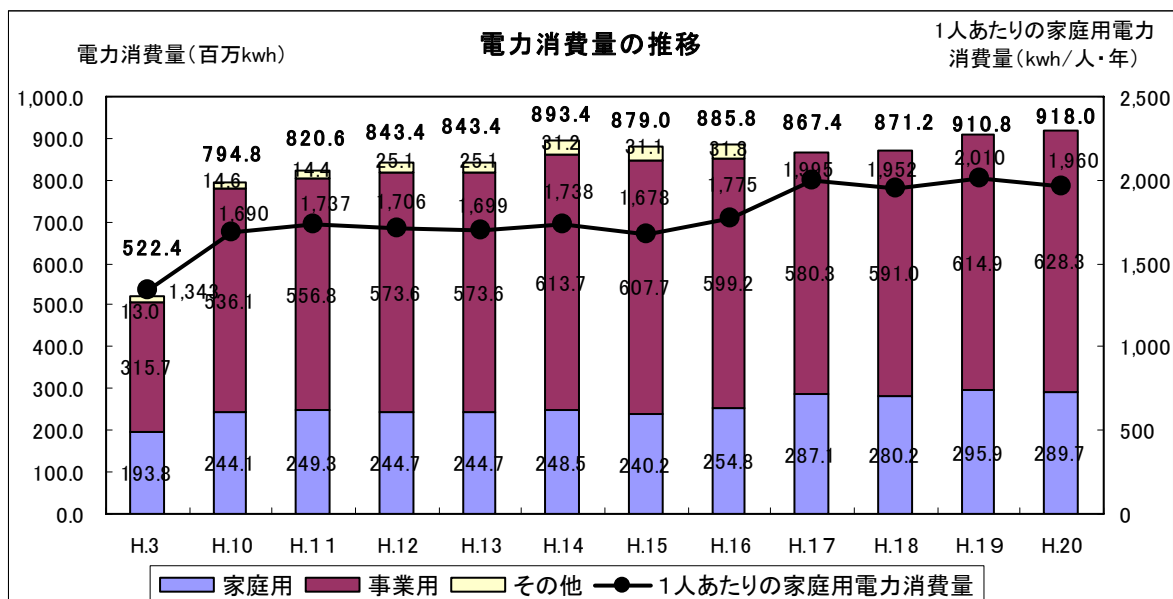
エネルギーの有効利用

区 分		18年度	19年度	20年度
電力消費量 (単位 kWh)	1人当たり・年	1,952	2,010	1,960
都市ガス消費量 (単位 m ³)		156	160	155

※電力消費量・都市ガス消費量とも家庭用消費量から算出
 ※1人当たりは翌年度4月1日の人口による。

管理指標	18年度	19年度	20年度	目標年次 (22年度)
電力消費量 (千 kWh)	871,248	910,788	918,004	850,537
都市ガス消費量 (千 m ³)	42,926	44,702	43,034	40,014

● エネルギー消費量の推移



※ その他は深夜電力、農業用、街路灯、一年未満の契約（建設現場等）

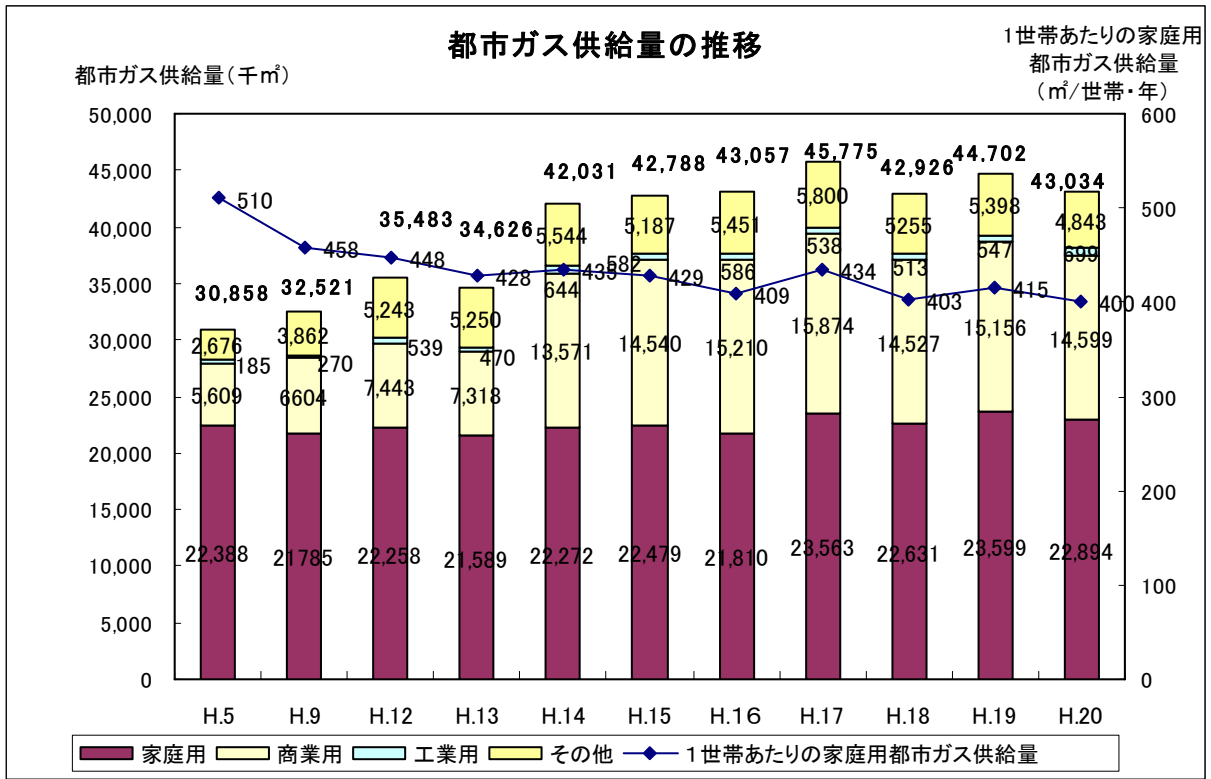
※ 平成17年度からその他は、その用途によりそれぞれ家庭用、事業用を含むことになったため1人あたりの家庭用電力消費量は大幅に上回ってしまった。

● 電力消費量

(千 kWh)

	区分	18年度	19年度	20年度	前年比
家庭系	電灯（一般家庭用） （深夜電力、農業用）	280,240	295,874	289,721	△2.1%
	一人当たり kWh/人・年	1,952	2,010	1,960	△2.5%
事業系	電力（事業用） （街路灯、建設現場等）	591,008	614,914	628,283	2.2%
	総合計	871,248	910,788	918,004	0.8%

● 都市ガス消費量の推移



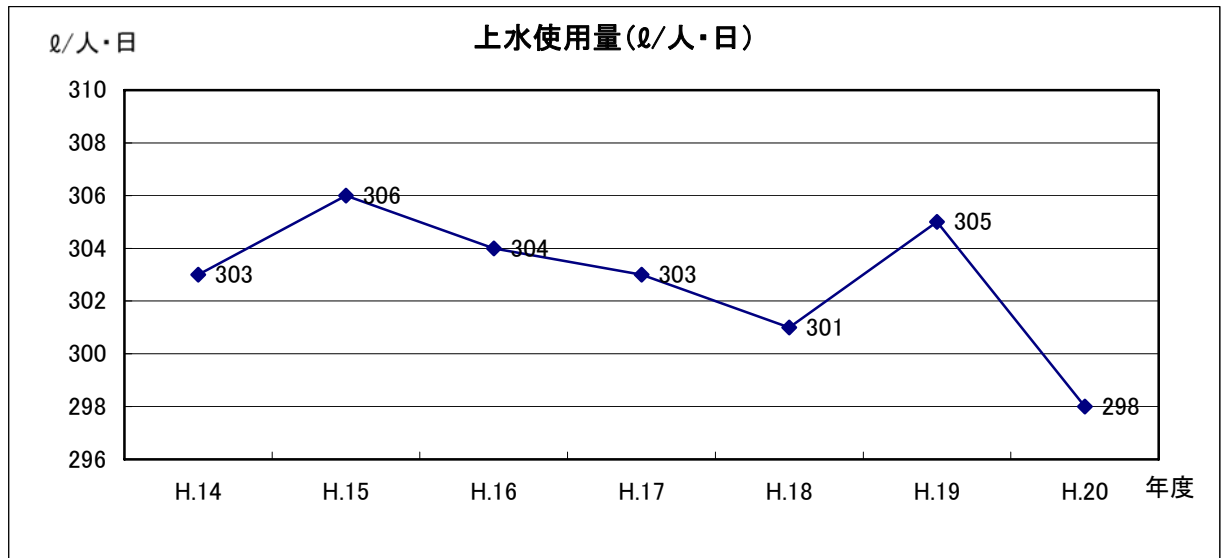
※平成 14 年度から多摩センター地域コージェネレーションシステム（地域冷暖房）の供給量を加えた。

● 都市ガス消費量

(単位千m³)

区 分		18 年度	19 年度	20 年度	前年比
家 庭 系	消費世帯数 (戸)	56,160	56,813	57,278	0.8%
	消費量 (家庭用)	22,631	23,599	22,894	△3.0%
	1人当り m³/人・年	156	160	155	△3.1%
事 業 系	消費量事業所当たり (商業用)	14,527	15,156	14,599	△3.7%
	〃 〃 (工業用)	513	547	699	27.8%
	〃 〃 (医療・公用)	5,255	5,398	4,843	△10.3%
	計	20,295	21,101	20,141	△4.5%
消費量合計 (千m³)		42,926	44,702	43,034	△3.7%

健全な水循環の確保



管理指標		18年度	19年度	20年度	目標年次 (平成22年度)
上水使用量(ℓ/人・日)		301	305	298	280
水浸透施設 設置数 (累計)	雨水浸透施設	67件	67件	68件	90件
	浸透ます	347個	347個	771個	700個
	浸透トレンチ	942.8m	942.8m	2017.5m	2,060m
貯留施設設置数 (累計)	雨水簡易 貯留槽	66件	160件	164件	累計170件
湧水量	大谷戸公園 (測定日)	1.0ℓ/s (H18.8.31)	1.0ℓ/s (H19.8.21)	0.51ℓ/s (H20.12.16)	増やす
	寺の入り	0.22ℓ/s	0.24ℓ/s	0.24ℓ/s	増やす

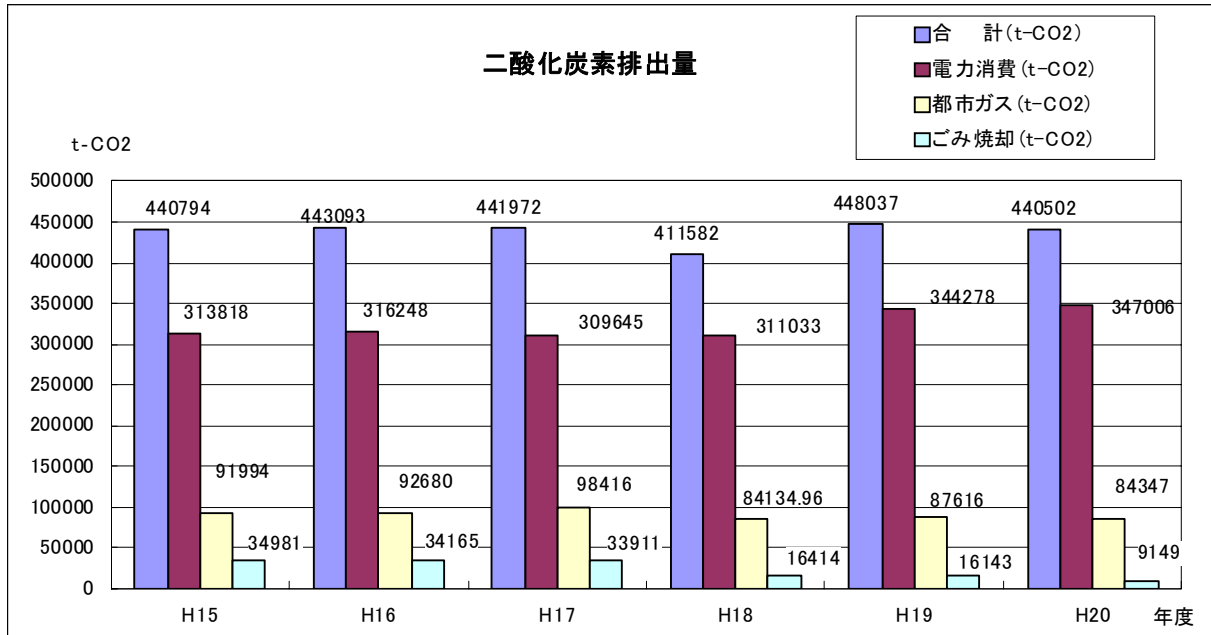
※雨水浸透施設設置数は、各戸雨水貯留浸透施設助成事業により設置した件数。

※貯留施設設置数は、雨水簡易貯留槽設置補助事業により設置した件数。

地球環境の保全等

地球温暖化の防止

二酸化炭素排出量（t-CO₂：二酸化炭素換算重量を示す単位）



※ 平成19年度からごみ焼却量（t-CO₂）をプラスチック焼却量（t-CO₂）に変更

参考：二酸化炭素排出量（電力・都市ガス消費、ごみ焼却を対象）の推移

管理指標	17年度	18年度	19年度	20年度	目標 (22年度)
二酸化炭素排出量 (電力・都市ガス消費・ごみ焼却を対象) * t-CO ₂	441,972	411,582	448,037	440,502	419,274

※ t-CO₂：二酸化炭素換算重量を示す単位。

参考：一般家庭用及び事業用を含む全体量

内 訳	17年度	18年度	19年度	20年度
電力消費量 (t-CO ₂)	309,645	311,033	344,278	347,006
都市ガス消費量 (t-CO ₂)	98,416	84,135	87,616	84,347
ごみ焼却量（総量）(t-CO ₂)	33,911	*****	*****	*****
ごみ焼却量（プラスチック）(t-CO ₂)	*****	16,414	16,143	9,149

※平成17年4月に閣議決定された「京都議定書目標達成計画」に基づき作成された方針により、平成18年度からごみ焼却量をプラスチック焼却量（t-CO₂）とした。

市有施設のCO2排出量と16年度比（削減目標：平成22年度までに平成16年度比4.8%削減）			
	20年度排出量 (t-CO2)	16年度排出量 (t-CO2)	16年度比 (%)
全施設（燃料含む）	11,523	12,432	△ 7.3
1 街路灯	1,582	1,475	7.2
2 パルテノン多摩	904	1,016	△ 11.1
3 温水プール	864	1,085	△ 20.3
4 永山・南野調理所	822	752	9.2
5 市役所（庁舎）	555	619	△ 10.3
6 永山公民館	453	519	△ 12.6
7 総合福祉センター	428	531	△ 19.4
8 関戸公民館（含TAMA女性センター・聖蹟桜ヶ丘駅前出張所・市民活動情報センター）	383	462	△ 17.2
9 総合体育館	363	391	△ 7.1
10 エコプラザ多摩	335	312	7.3
11 都市公園及び都市緑地 全183公園	317	338	△ 6.3
12 聖ヶ丘コミュニティセンター	236	213	10.8
13 健康センター	182	207	△ 11.9
14 和田水源	173	172	0.7
15 鶴牧・落合・南野コミュニティセンター	162	166	△ 2.6
上記15施設の排出量と割合	7,759	8,092	△ 4.1

市有施設のエネルギー使用量等					
	項目	単位	20年度使用量	16年度使用量	16年度比 (%)
エネルギー	電気	kWh	23,005,414	23,886,393	△ 3.7
	灯油	ℓ	484	7,920	△ 93.9
	軽油	ℓ	1,442	1,372	5.1
	ガソリン	ℓ	49,062	57,232	△ 14.3
	LPG	kg	10,416	21	49,500.0
	都市ガス	m3	1,362,051	1,402,134	△ 2.9
	都市ガス（車）	m3	3,649	1,131	222.6
廃棄物	燃やせるごみ	kg	89,104	90,940	△ 2.0
	プラスチック	kg	8,549		
	燃やせないごみ	kg	14,859	24,838	△ 40.2
	資源(新聞等合計)	kg	143,999	185,774	△ 22.5
	新聞	kg	15,471	22,648	△ 31.7
	コピー再生	kg	21,480	17,602	22.0
	雑誌ほか	kg	78,325	96,216	△ 18.6
	ダンボール	kg	21,369	40,717	△ 47.5
	パンフ	kg	7,354	8,590	△ 14.4
	缶	kg	1,965	5,073	△ 61.3
上水	ビン	kg	842	1,488	△ 43.4
	粗大ごみ	kg	41,055	21,096	94.6
上水	上水使用量	ℓ	338,667	354,561	△ 4.5
紙使用量	B5再生紙	枚	2,764,480	1,774,040	55.8
	B4再生紙	枚	5,123,630	5,191,750	△ 1.3
	A4再生紙	枚	13,852,807	11,462,642	20.9
	A3再生紙	枚	1,074,380	486,932	120.6
	合計	枚	22,851,797	18,915,364	20.8

冷暖房必要温度年間比較表

年 度	冷房必要温度 年間計 (°C)	暖房必要温度 年間計 (°C)	合 計 (°C)	平成 16 年 度比
平成 16 年度	1,059	20,573	21,632	0
平成 17 年度	1,566	19,866	21,422	△0.9%
平成 18 年度	958	17,449	18,407	△14.9%
平成 19 年度	1,710	18,677	20,387	△5.8%
平成 20 年度	1,491	17,465	18,956	△12.4%

※冷房必要温度年間計

毎日 8:00~17:00 の時間毎における 28°Cを超える外気温を合計し、更にそれを年間合計したもの。

※暖房必要温度年間計

毎日 8:00~17:00 の時間毎における 20°Cを下回る外気温を合計し、更にそれを年間合計したもの。

人づくり

環境教育の拡充

環境教育の実施状況

(実施校/全校)

管理指標	項目	18年度	19年度	20年度
環境教育取り組み 校数の割合	清掃活動	30/31	26/31	22/30
	調査研究活動	31/31	29/31	24/30
	リサイクル活動	31/31	31/31	28/30
	栽培活動	31/31	30/31	27/30
	その他活動 自然観察・自然保護活動	25/31	31/31	24/30

環境学習の拡充

		18年度	19年度	20年度
展示個所数		6ヶ所	6ヶ所	3ヶ所
出展校	小学校	7校	6校	9校
	作品数	103点	26点	40点
	中学校	5校	5校	4校
	作品数	209点	250点	225点
学校名	小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・多摩第一小学校 ・北諏訪小学校 ・南鶴牧小学校 ・北貝取小学校 ・武蔵野学園小学校(市外) ・連光寺小学校 ・大松台小学校 ・東落合小学校 ・永山小学校 		
	中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・東愛宕中学校 ・多摩永山中学校 ・鶴牧中学校 ・多摩大学附属聖ヶ丘中学校 		

IV ごみ問題

その後の状況

平成20年度 収集（家庭系）ごみ量集計 ※1

発生源	ごみ・資源種	収集	収集別	単位	収集量		減量値	
					19年度	20年度	前年度比	%
収集ごみ	可燃ごみ	収集	委託収集	トン	23,257	22,104	△1,153	△5.0%
			草枝(委託)		169	115	△54	△31.9%
		合計		トン	23,426	22,219	△1,207	△5.2%
	不燃ごみ	収集	委託収集	トン	5,035	1,425	△3,610	△71.7%
	粗大ごみ	収集	委託収集		1,152	811	△341	△29.6%
	有害性ごみ	収集	委託収集		56	50	△6	△10.2%
	家庭系ごみ合計				トン	29,669	24,505	△5,164
収集(家庭系)資源	びん	収集	委託収集	トン	1,121	1,160	39	3.5%
	缶				407	393	△14	△3.4%
	ペットボトル				472	465	△7	△1.5%
	トレイ				0.21	0.40	0.19	90.5%
	新聞				961	754	△208	△21.6%
	雑誌雑紙				2,267	2,380	113	5.0%
	ダンボール				871	832	△39	△4.5%
	紙パック				30	17	△13	△43.4%
	古布				532	429	△103	△19.3%
	プラスチック(製品)				0	16	16	
	プラスチック(容器)				0	912	912	
	家庭系資源合計				トン	6,661	7,358	697
家庭系ごみ・資源総量				トン	36,330	31,863	△4,468	△12.3%
統計	人口(各年度10/1現在)			人	146,854	147,364	510	
	年間日数			日	366	365	△1	
	市民1人1日当りごみ量			グラム	552	456	△96	△17.5%
	市民1人1日当りごみ・資源量			グラム	675.92	592.4	△83.5	△12.4%
	二酸化炭素排出量			トン	16,143	9,149	△6,994	△43.3%

※1 収集ごみ・・・家庭系ごみ＋小規模事業所ごみ(日量排出 10 kg未満)

収集した資源の総量は約697 トン増量しました。中でも、プラスチックを分別回収してリサイクル(資源化)が出来たため、約 6,994 トンの二酸化炭素の排出削減ができました。

平成20年度 持込ごみ量集計 ※1

ごみ・資源種	収集別	単位	ごみ・資源量		減量値		
			19年度	20年度	前年度比	%	
可燃ごみ	持込	許可業者※2	トン	9,601	9,275	△326	△3.4%
		草枝家庭系		907	976	69	7.6%
		直接持込※3		283	210	△74	△25.9%
		地域行事・不法投棄		70	78	8	11.7%
		草枝事業系		271	406	135	49.9%
合計		トン	11,132	10,945	△187	△1.7%	
不燃ごみ	持込	地域行事	トン	0.14	0.16	0.02	14.3%
		許可不燃※4		0.08	0.93	0.85	1063%
		学校等		7	10	3	35.7%
合計		トン	7	11	4	46.4%	
粗大ごみ	持込	事業系※5	トン	30	33	3.1	10.3%
		許可粗大		16	19	2.7	16.7%
		家庭系持込		123	82	△40.9	△33.2%
		不法投棄等		122	103	△19.5	△15.9%
合計		トン	292	237	△54.6	△18.7%	
事業系ごみ合計		トン	11,431	11,193	△238	△2.1%	
缶		トン	0.04	0.31	0.27	675.0%	
雑誌雑紙			6	6	0	△9.8%	
ダンボール			14	13	△1	△5.9%	
剪定枝			70	112	42	160.9%	
事業系資源合計		トン	90	132	42	45.9%	
事業系ごみ・資源総量		トン	11,521	11,325	△196	△1.7%	
人口(各年度10/1現在)		人	146,854	147,364	510		
年間日数		日	366	365	△1		
市民1人1日あたりごみ量		グラム	213	208	△4.6	△2.2%	
市民1人1日あたりごみ・資源量		グラム	214.4	210.5	△3.8	△1.8%	

※1 持込ごみ…事業所が直接持込んだり、一般廃棄物収集運搬業者と契約して持込んだ事業系ごみ

※2 許可業者…一般廃棄物収集運搬業許可業者の略(主に事業所から排出される廃棄物を扱う)

※3 直接持込…事業所の従業員が直接持込んだ事業系ごみ

※4 許可不燃…排出量が多く、集積所に出せなかったり自ら持ち込めずに、市民の方が業者に依頼した家庭ごみ

※5 事業系粗大…学校・保育園・市役所等から持込まれた粗大ごみ(一般事業所の粗大ごみは受け入れ不可)

平成 20 年度 資源回収量と総資源化率

1 集団回収量の推移						
4月～3月比較	単位	集団回収量		行政回収量		
		19年度	20年度	19年度	20年度	
集団回収登録団体数	団体	201	209			
世帯数	世帯	37,884	42,994	64,152	64,943	
集団回収モデル事業団体数	団体		7			
集団回収モデル事業世帯数	世帯		2,202			
資源回収量	びん	トン		1	1,122	1,160
	缶・ペットボトル	トン	45	61	879	858
	白色トレイ	トン				
	プラスチック(製品)					15
	プラスチック(容器包装)					912
	不燃系資源計	トン	45	62	2,001	2,946
	新聞	トン	2,773	2,722	961	754
	ダンボール		368	425	871	832
	雑誌・雑紙		1,027	1,167	2,267	2,380
	古布		204	202	532	429
	紙パック		18	22	30	17
	可燃系資源計		トン	4,390	4,539	4,662
	事業系持込資源	トン			90	132
	総合計	トン	4,435	4,601	6,663	7,490
2 総資源化率						
	単位	19年度	20年度			
総ごみ量 ①	トン	47,852	43,188			
総ごみ量+集団回収量 ②	トン	52,287	47,789			
総資源化量(資源収集+集団回収量+収集後資源化量)	トン	17,181	16,904			
ごみ資源化量		12,656	12,303	※資源ごみ+収集後資源化量		
集団回収	トン	4,435	4,601			
資源収集		6,753	7,490			
収集後資源化		5,993	4,813			
総資源化率※1	%	32.9%	35.4%			
ごみ資源化率※2	%	26.6%	28.5%			
※1 総ごみ量に集団回収量を合わせた量のうち、資源化された割合						
※2 集団回収を除いた行政収集中で資源化された割合						

平成20年度 市民1人1日当たり収集(家庭系)ごみ減量率比較

単位：グラム

No.	自治体名	19年度	20年度	減量値	減量率(%)
1	多摩市	676	592	84	△ 12.43
2	西東京市	646	578	68	△ 10.53
3	奥多摩町	787	751	36	△ 4.57
4	小金井市	654	629	25	△ 3.82
5	東大和市	770	742	28	△ 3.64
6	府中市	668	644	24	△ 3.59
7	調布市	689	666	23	△ 3.34
8	日の出町	822	797	25	△ 3.04
9	武蔵野市	743	721	22	△ 2.96
10	三鷹市	679	660	19	△ 2.80
11	立川市	646	629	17	△ 2.63
12	東村山市	618	602	16	△ 2.59
13	国分寺市	697	679	18	△ 2.58
14	清瀬市	628	612	16	△ 2.55
15	あきる野市	864	842	22	△ 2.55
16	狛江市	702	685	17	△ 2.42
17	武蔵村山市	753	735	18	△ 2.39
18	昭島市	674	658	16	△ 2.37
19	稲城市	667	653	14	△ 2.10
20	羽村市	720	706	14	△ 1.94
21	福生市	732	718	14	△ 1.91
22	東久留米市	641	629	12	△ 1.87
23	町田市	613	602	11	△ 1.79
24	小平市	728	715	13	△ 1.79
25	国立市	698	686	12	△ 1.72
26	瑞穂町	776	763	13	△ 1.68
27	日野市	640	633	7	△ 1.09
28	檜原村	883	874	9	△ 1.02
29	八王子市	618	613	5	△ 0.81
30	青梅市	662	664	△ 2	0.30

平成20年度 市民1人1日当たり収集(家庭系)ごみ量比較 ※1

単位：グラム

No.	自治体名	処理	19年度	20年度	減量値	減量率(%)
1	多摩市	有料	676	592	84	△ 12.43
2	町田市	有料	613	602	11	△ 1.79
3	東村山市	有料	618	602	16	△ 2.59
4	清瀬市	有料	628	612	16	△ 2.55
5	八王子市	有料	618	613	5	△ 0.81
6	小金井市	有料	654	629	25	△ 3.82
7	日野市	有料	640	633	7	△ 1.09
8	府中市	無料	668	644	24	△ 3.59
9	稲城市	有料	667	653	14	△ 2.10
10	昭島市	有料	674	658	16	△ 2.37
11	三鷹市	無料	679	660	19	△ 2.80
12	青梅市	有料	662	664	△ 2	0.30
13	調布市	有料	689	666	23	△ 3.34
14	国分寺市	無料	697	679	18	△ 2.58
15	狛江市	有料	702	685	17	△ 2.42
16	国立市	無料	698	686	12	△ 1.72
17	羽村市	有料	720	706	14	△ 1.94
18	小平市	無料	728	715	13	△ 1.79
19	福生市	有料	732	718	14	△ 1.91
20	武蔵野市	有料	743	721	22	△ 2.96
21	武蔵村山市	無料	753	735	18	△ 2.39
22	東大和市	無料	770	742	28	△ 3.64
23	奥多摩町	有料	787	751	36	△ 4.57
24	瑞穂町	有料	776	763	13	△ 1.68

※1 収集ごみ＝家庭系ごみ＋小規模事業所排出ごみ

* 小規模事業所排出ごみを受け入れていない自治体

1	西東京市	有料	646	578	68	△ 10.53
2	東久留米市	無料	641	629	12	△ 1.87
3	立川市	無料	646	629	17	△ 2.63

* 家庭系ごみと事業系ごみの区分がない自治体（事業系ごみを含む）

1	日の出町	指定	822	797	25	△ 3.01
2	あきる野市	有料	864	842	22	△ 2.55
3	檜原村	指定	883	874	9	△ 1.1

用語集

二酸化窒素【英】Nitrogen Dioxide [略] NO₂

窒素の酸化物で赤褐色の気体。分子量 46.01、融点-9.3℃、沸点 21.3℃。発生源は自然に発生するほかに、ボイラーなどの固定発生源や自動車などの移動発生源のような人の活動によって発生する。人の健康影響については、高濃度では呼吸器疾患などが知られている。

光化学スモッグ【英】Photochemical Smog

工場、自動車などから排出される窒素酸化物や炭化水素が一定レベル以上の汚染の下で紫外線による光化学反応で生じた光化学オキシダントや視程の低下を招く粒子状物質を生成する現象、あるいはこれらの物質からできたスモッグ状態のことをいう。

光化学オキシダント【英】Photochemical Oxidant [略] Ox

工場、自動車などから排出される窒素酸化物や炭化水素が一定レベル以上の汚染の下で紫外線による光化学反応で生じたもの。1 時間値で 0.12ppm を超え、気象条件からみて汚染が継続すると認められる時は「光化学スモッグ注意報」が発令される。人の健康影響については、高濃度では呼吸器疾患などが知られている。

VOC（揮発性有機化合物）【英】Volatile Organic Compounds

常温常圧で空気中に容易に揮発する物質の総称で、主に人工合成されたものを指す。比重は水よりも重く、粘性が低くて、難分解性であることが多いため、地層粒子の間に浸透して土壌・地下水を汚染する。一方、大気中に放出され、光化学反応によってオキシダントや SPM（浮遊粒子状物質）の発生に関与していると考えられている。発がん物質も多くある。

浮遊粒子状物質【英】Suspended Particulate Matter [略] SPM

大気中に浮遊している粒子状物質で、環境基準では粒径 10μm 以下のものと定義している。発生源は工場のばい煙、自動車排出ガスなどの人の活動に伴うもののほか、火山、森林火災など自然界由来のものがある。人の健康影響については、高濃度では呼吸器疾患などが知られている。

BOD（生物化学酸素要求量）【英】Biochemical Oxygen Demand

水中の有機物が微生物の働きによって分解されるときに消費される酸素の量のこと、河川の有機汚濁を測る代表的な指標。BOD が高いと DO が欠乏しやすくなり、10mg/l 以上で悪臭の発生がみられる。

pH（水素イオン濃度指数）【英】Hydrogen Ion Concentration Index

水溶液の酸性、アルカリ性の度合いを表す指標。pH が 7 のときに中性、

7 を超えるとアルカリ性、7 未満では酸性を示す。河川水は通常 pH6.5～8.5 を示すが、夏季には植物プランクトンの光合成の要因によりアルカリ性に傾く場合がある。

大腸菌群数【英】 Total Coliform

大腸菌群数は、大腸菌及び大腸菌と性質が似ている細菌の数のことをいい、水中の大腸菌群数は、し尿汚染の指標として使われている。

(糞便性大腸菌：糞便性大腸菌は、ほぼ糞便由来の菌（大腸菌）の数とみなすことができます。糞便由来の中には、人に病気を引き起こすような O-157 などの病原菌も含まれるため、この数値が高い場合は注意が必要です。)

光合成【英】 Photosynthesis

植物や微生物が行っている葉緑素を用いた光合成により、大気中の二酸化炭素を炭水化物に代えて生物躯体として固定させること。

環境基準【英】 Environmental Quality Standard

環境基本法（1993）の第 16 条に基づいて、政府が定める環境保全行政上の目標。人の健康を保護し、及び、生活環境を保全する上で維持されることが望ましい基準。

政府は、公害の防止に関する施策を総合的かつ有効適切に講ずることにより、環境基準の確保に務めなければならないとされている。これに基づき、大気汚染、水質汚濁、土壌汚染、騒音などに関する環境基準を定めている。また、これら基準は、常に適切な科学的判断が加えられ、必要な改定がなされなければならないと規定されている。

なお、ダイオキシン類に関しては、ダイオキシン類対策特別措置法（1999）を根拠として、大気汚染、水質汚濁及び土壌汚染の環境基準が定められている。

要請限度（自動車騒音に係る）

【英】 Request Limit Concerning Automobile Noise

騒音規制法（1968）に基づく自動車騒音対策に係る行政措置。

住居の集合地域や病院・学校の周辺地域であって、騒音規制法に基づく指定地域に指定されている地域において、市町村長は、自動車騒音が一定の限度（これを「要請限度」という）を超え道路周辺の生活環境が著しく損なわれると認めるときには、都道府県公安委員会に対して道路交通法に基づく交通規制等の措置を講じるよう要請できる。

また、市町村長は道路管理者に対して道路構造の改善等について意見を述べることができる。

ダイオキシン類【英】 Poly Chlorinated Dibenzo-para-Dioxin

有機塩素化合物の一種で、略してダイオキシンとも呼ばれる。ダイオキシン類は、ポリ塩化ジベンゾ-パラ-ジオキシン (PCDD)、ポリ塩化ジベンゾフラン (PCDF) およびコプラナーポリ塩化ビフェニル (Co-PCB) の3種類の化合物の総称で、塩素の数や位置によって222種もの異性体が存在する。ベトナム戦争で枯れ葉剤として使われた2,4,5-T (2,4,5-トリクロロフェノキシ酢酸) や除草剤・防腐剤として使われるPCP (ペンタクロロフェノール) に不純物として含まれて問題となった。また、1997年にはごみ焼却施設によるダイオキシン類汚染が大きな社会問題となった。

アスベスト (石綿)【英】 Asbestos

天然に存在する繊維状の鉱物である。現在規制されているものは、クリソタイル (白石綿)、クロシドライト (青石綿)、アモサイト (茶石綿)、トレモライト、アクチノライト、アンソフィライトの6種類である。主な産出国はカナダ、南アフリカ、ロシアなど。アスベストは軟らかく、耐熱・対磨耗性にすぐれているため、ボイラー暖房パイプの被覆、自動車のブレーキ、建築材など広く利用されていた。しかし、繊維が肺に突き刺さったりすると肺がんや中皮腫の原因になることが明らかになっており、WHO (世界保健機関) ではアスベストを発がん物質と断定。現在、日本でも製造、新たな使用ともに禁止になっている。

酸性雨【英】 Acid Rain

pH5.6以下の酸性の雨を指す。中性はpH7.0であるが、大気中の二酸化炭素が炭酸イオンとして雨水に飽和状態になった時に、pH5.6を示すため、酸性雨はpH5.6以下と定義づけられている。酸性の原因は硫酸や硝酸であり、自動車、工場、発電所、ビルのボイラーなどで石油や石炭を燃やすとき、二酸化硫黄、窒素酸化物などの汚染ガスが大気に放出される。これらは大気中で硫酸や硝酸に変わり、雨水に取り込まれ酸性雨となる。

親水化

親水 (しんすい) とは、文字通り、河川などで水に触れたり、接したりして水に親しむこと。河川は、昔から生活用水や農業用水として利用され、人々の暮らしに欠かせないものだった。

アダプト制度

アダプト制度とは、行政が道路、公園、河川などの特定の公共財について、市民や民間業者と定期的に美化活動などを行うよう契約する制度のこと。

特に、美化活動などでは地域住民のボランティアが多く、行政はそれらの活動に対し一定の支援を行うという形式が多い。

エコショップ

ごみの発生抑制、減量化や資源化に取り組んでいる市内の小売店舗に対し市で「多摩市エコショップ」として認定している。

出典：（財）環境情報普及センターEIC ネットから抜粋